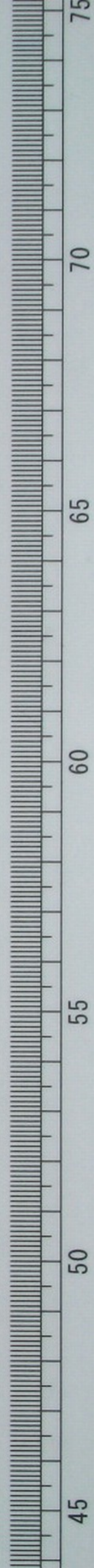


把一上人真蹟鏡
上

~~E~~
~~157~~
~~1~~

逍遙文庫
文庫 6
1266
1



文庫6
1266
1

東宮
書

御
印

わが所抱上人伊らう凡書を道あふ人等
んを喜〜〜唐〜〜はな〜〜何を得
るきりあめつらん何や〜あ〜見あるれり此故
子書史も氣韻生動を第一と申すされど
氣韻生動は天機出つもの思ふにたゞ肝命ふんを
あか〜あか此道を學ひあつ〜〜し〜神品
妙位もい〜〜明人の無聲詩を志すとい
い〜〜大皇國よそい吾をり〜ある終に
終をちてあ〜あ〜あ〜あ〜れ我書
は生れま〜人終を下れりんを思ひ〜大書公乃
道も〜〜わがあ〜神〜代りの古書

を廣く見遠く思ひわらうれ——白雲ちねる花
を葉におほおほをまら伏け萩芝そらや四の折く
鳥あひらうりねる海山乃は海 銚のちもさしあつた
れ——あくとまひま衣深まふあふこことまふ
やあふまあおさふれとまふ——いけいあふういん人
北はものこまふめいそふ法もくみあふ宗北宗
れとまふまひめいあふりまはははあふあふあ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
いゆまれここ——あふあふあふあふあふあふあ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
いあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
ろ——あふあふあふあふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
——あふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
河ふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
かふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
こふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
たふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあ
風鼓——あふあふあふあふあふあふあふあふあ

ま水書〜田〜
る〜
皆〜
お〜
中〜
の〜
あ〜
の〜
た〜
お〜

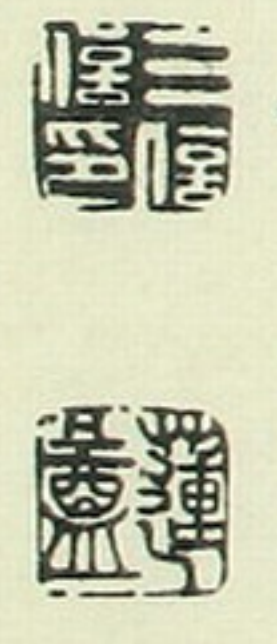
され〜
繪の〜
明宮〜
乃〜
あ〜
つ〜
佛〜
か〜
似〜
中〜
公〜

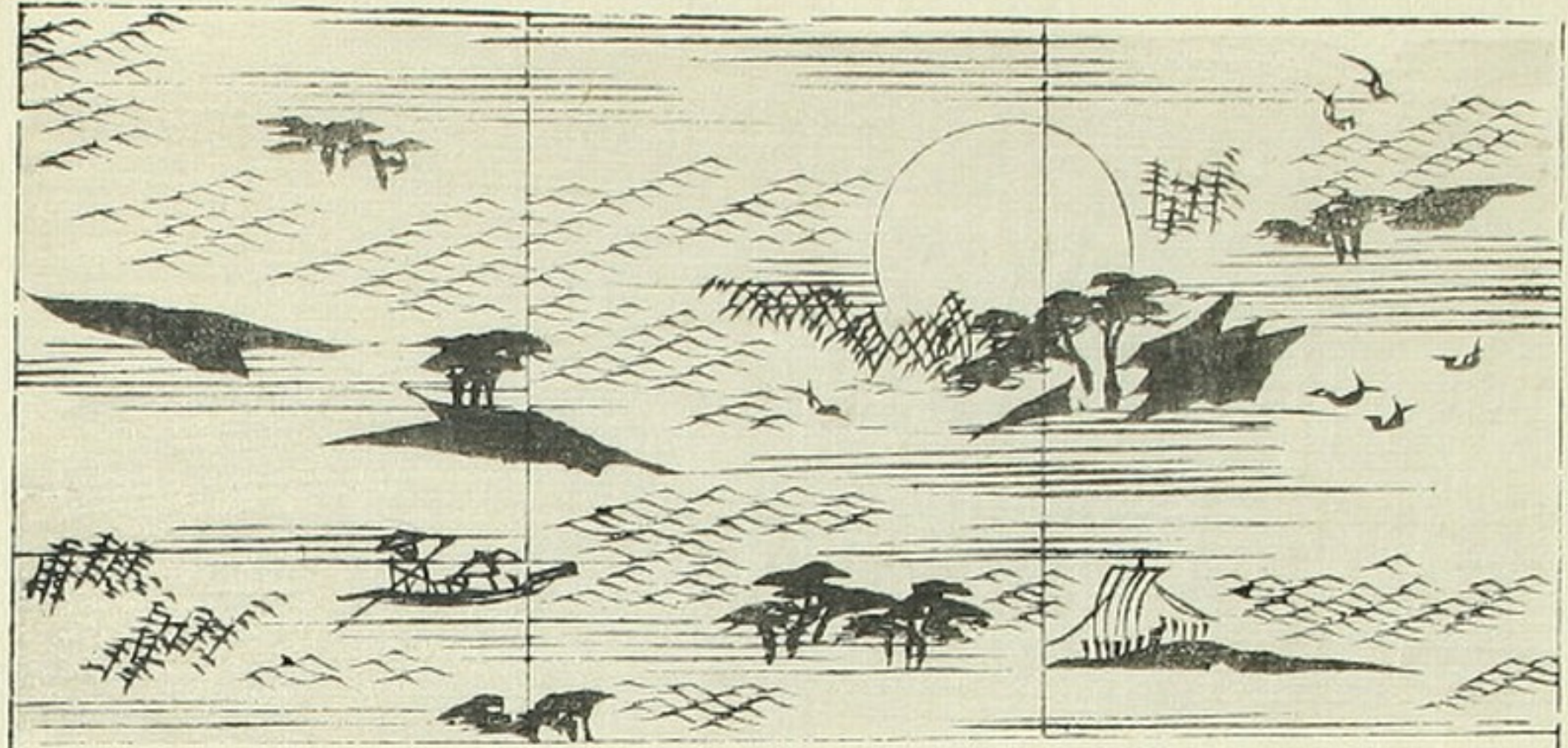
信公の實らぬ所は能くさしむるは其の事也此筆乃蹟
とたりしものもさしむるは其の事也此筆乃蹟
を宋の寺に出してしもの下りたりしものもさしむる見
るなるもさしむるは其の事也此筆乃蹟
折る所らぬ所は能くさしむるは其の事也此筆乃蹟
古きを盡しむるは其の事也此筆乃蹟
めりもさしむるは其の事也此筆乃蹟
て歸るもさしむるは其の事也此筆乃蹟
我もさしむるは其の事也此筆乃蹟
君の事也 皇國魂もさしむるは其の事也此筆乃蹟
の事也 人々もさしむるは其の事也此筆乃蹟
をさしむるは其の事也此筆乃蹟
をさしむるは其の事也此筆乃蹟
の事也 汝もさしむるは其の事也此筆乃蹟
我もさしむるは其の事也此筆乃蹟
もさしむるは其の事也此筆乃蹟
ちりてさしむるは其の事也此筆乃蹟
とれりてさしむるは其の事也此筆乃蹟
さしむるは其の事也此筆乃蹟
けり我もさしむるは其の事也此筆乃蹟
もの事也 汝もさしむるは其の事也此筆乃蹟
とめさしむるは其の事也此筆乃蹟

筆此流をたし入るの奥のこころ甲斐の
いふまじの物なりしもの母の世の人 is a name
あいらとておもひしと思ふものともいふ
たのしき流のまゝ水雲彩色をやらし又たし
あゝことわぬ人のいふのたしとて綿もきつ綱を
くらしもさしとて其のまゝなり事あるもの
まじりしものなりしもの我師のまじりしもの
もてまじりしものなりしものなりしもの
さあされぬものなりしものなりしもの
て世に人上人乃筆此流をたし母を我に
隠すものなりしものなりしものなりしもの

けしきいふものなりしものなりしものなりしもの
いふものなりしものなりしものなりしもの
抱一人志蹟鑑よりつけたりしものなりしもの
か師にたしとてなりしものなりしものなりしもの
老のまじりしものなりしものなりしものなりしもの
海もたしとてなりしものなりしものなりしもの
海のたしとてなりしものなりしものなりしもの

池田邦都 主筆





等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては
 等覺院殿御尊影は
 ありては

右持上人の尊影に書畫し
 飛村に信此尊影あり
 尊影の
 ありては

信本三幅對中書

皇三尺子橫尺六寸左右方あり

不爭庵藏

八幡大菩薩

天照皇太神宮

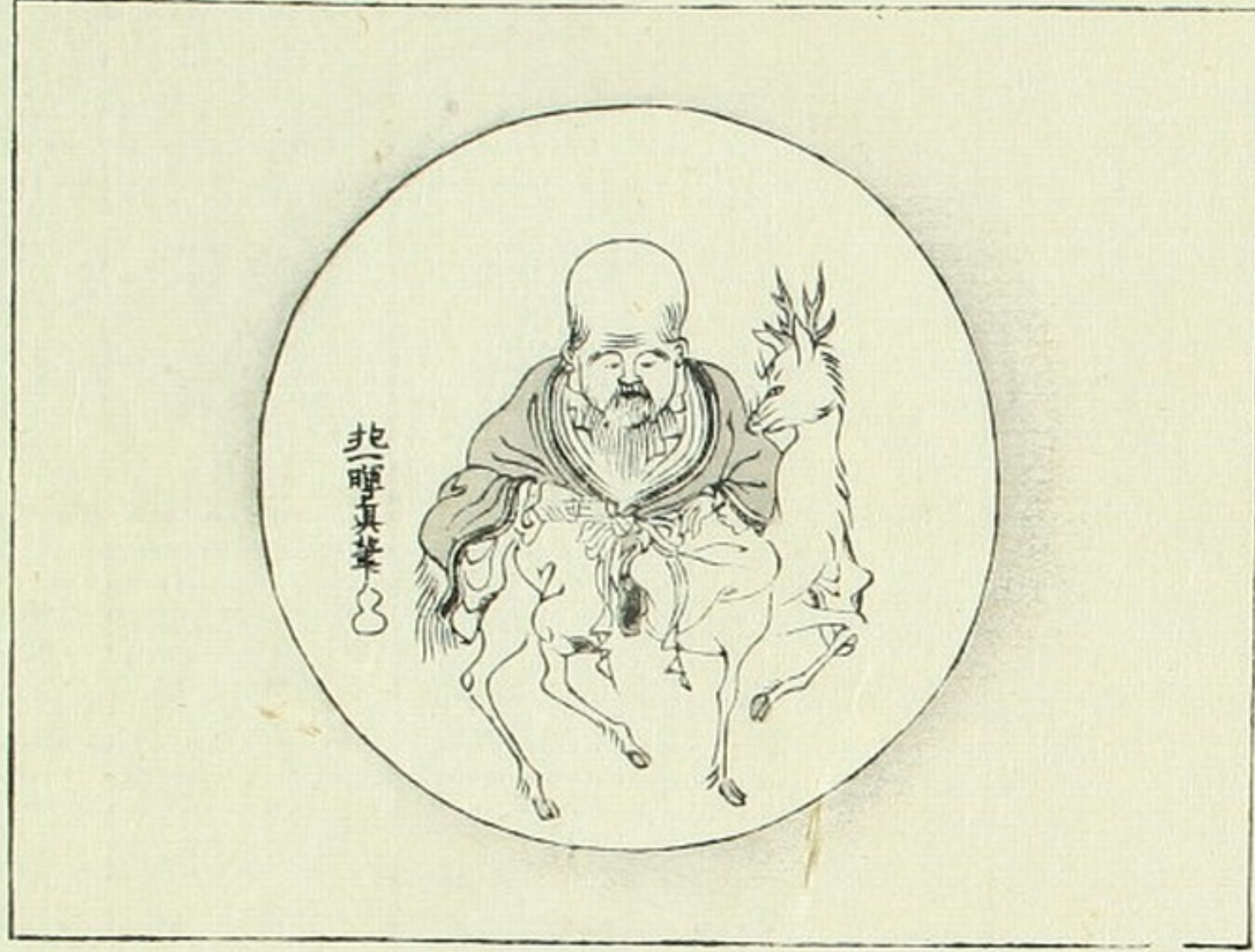
春日大明神

雖為執凡食之受心藏之令物
雖為洞懼望不刺心河之令毒

謀計雖為眼前之利固當神之得
正真雖非一旦之依怙終蒙日月憐

雖也之白河連不空邪見之毒
雖也之重胎厚之趣慈之堂

惟需兩字道人擅書之□□



北
一
睡
真
筆

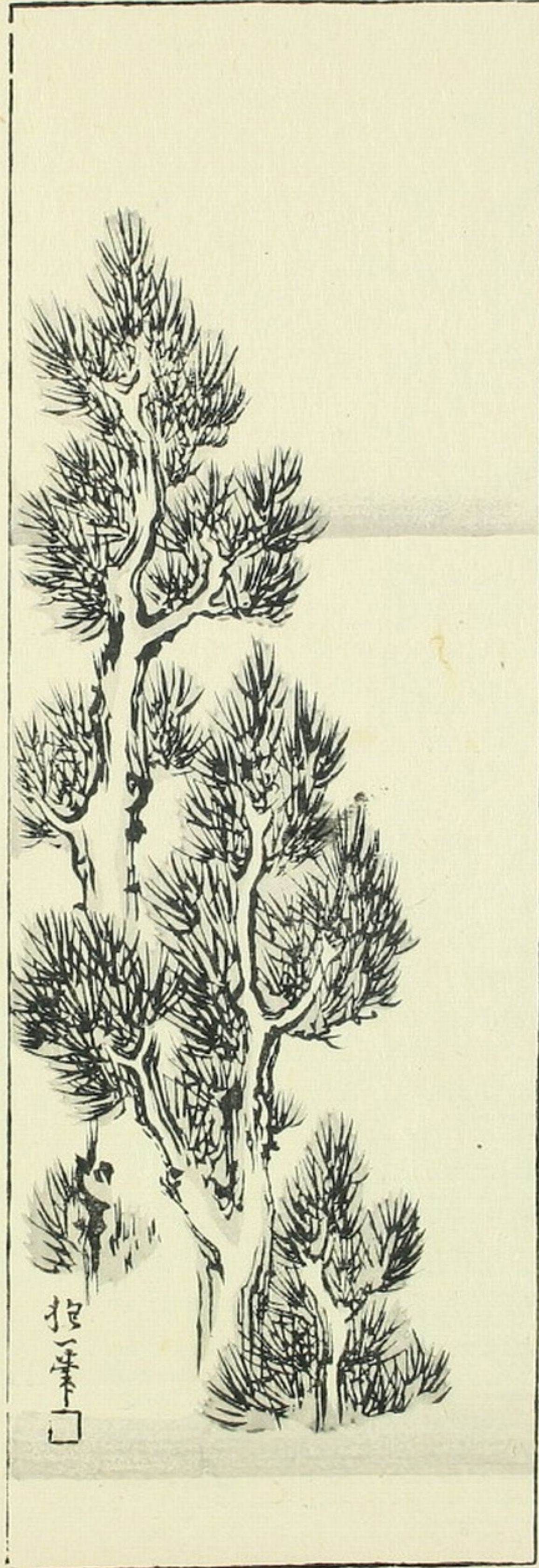
正
月
楳
村
冬
緒
本
十
二
月
十
二
陽
朔
笠
一
尺
三
寸
四
分
核
尺
八
寸



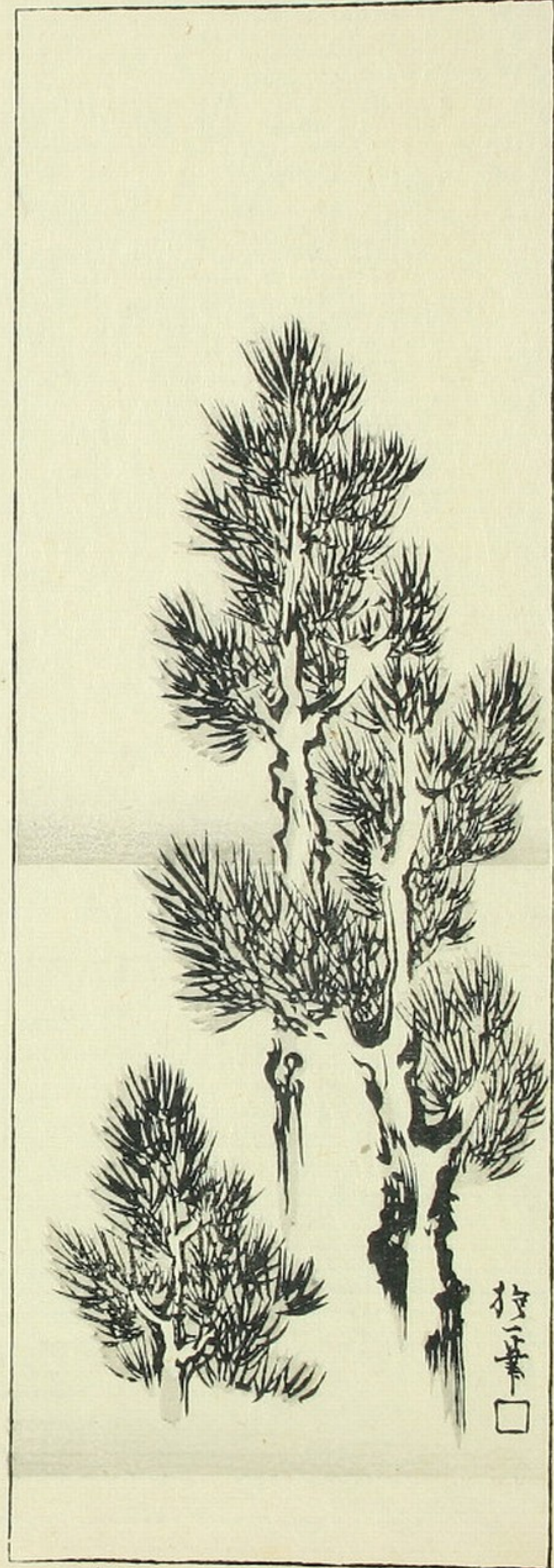
松
平
集
□

二
月
海
鳥

西
園
藏

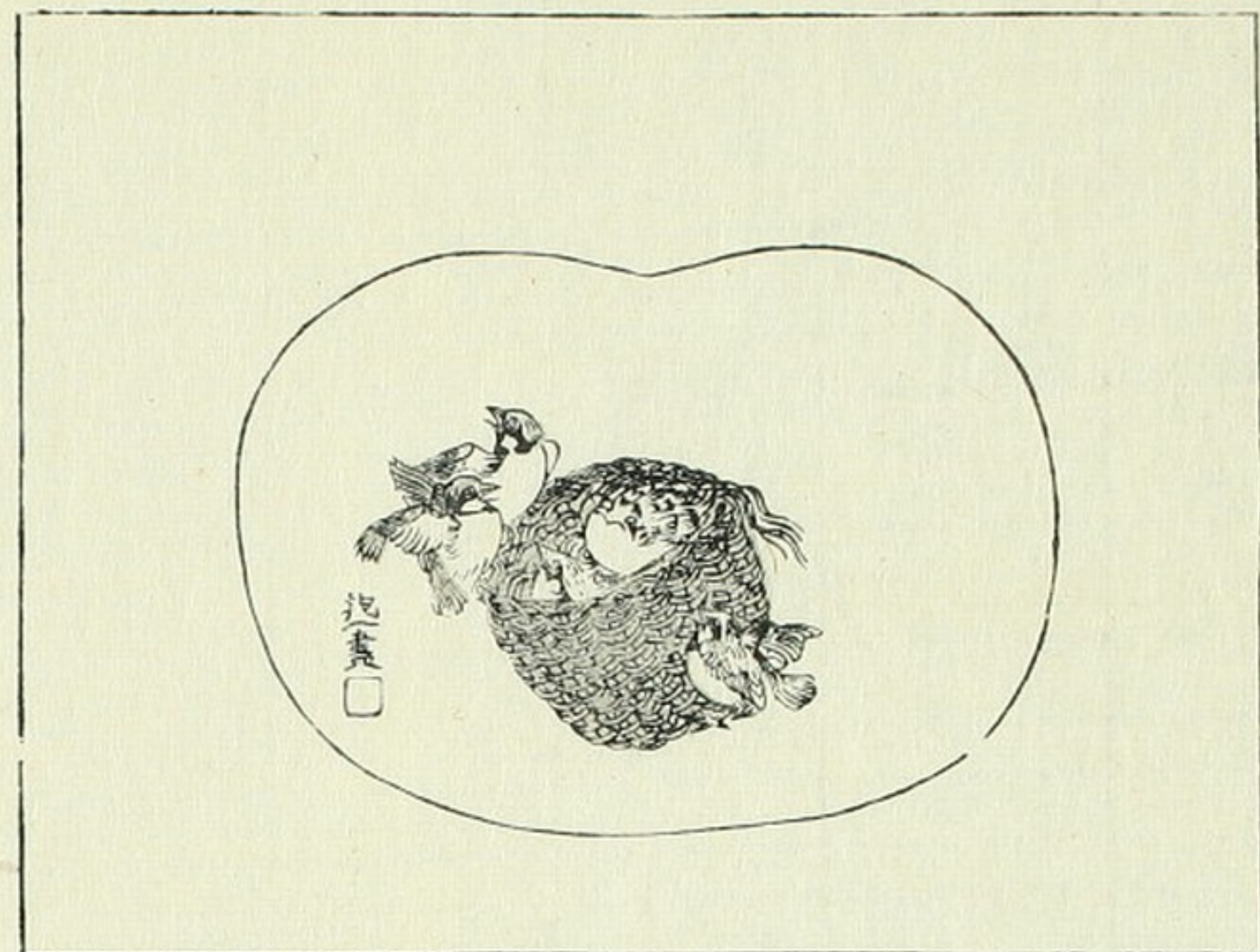


松
平
集
□

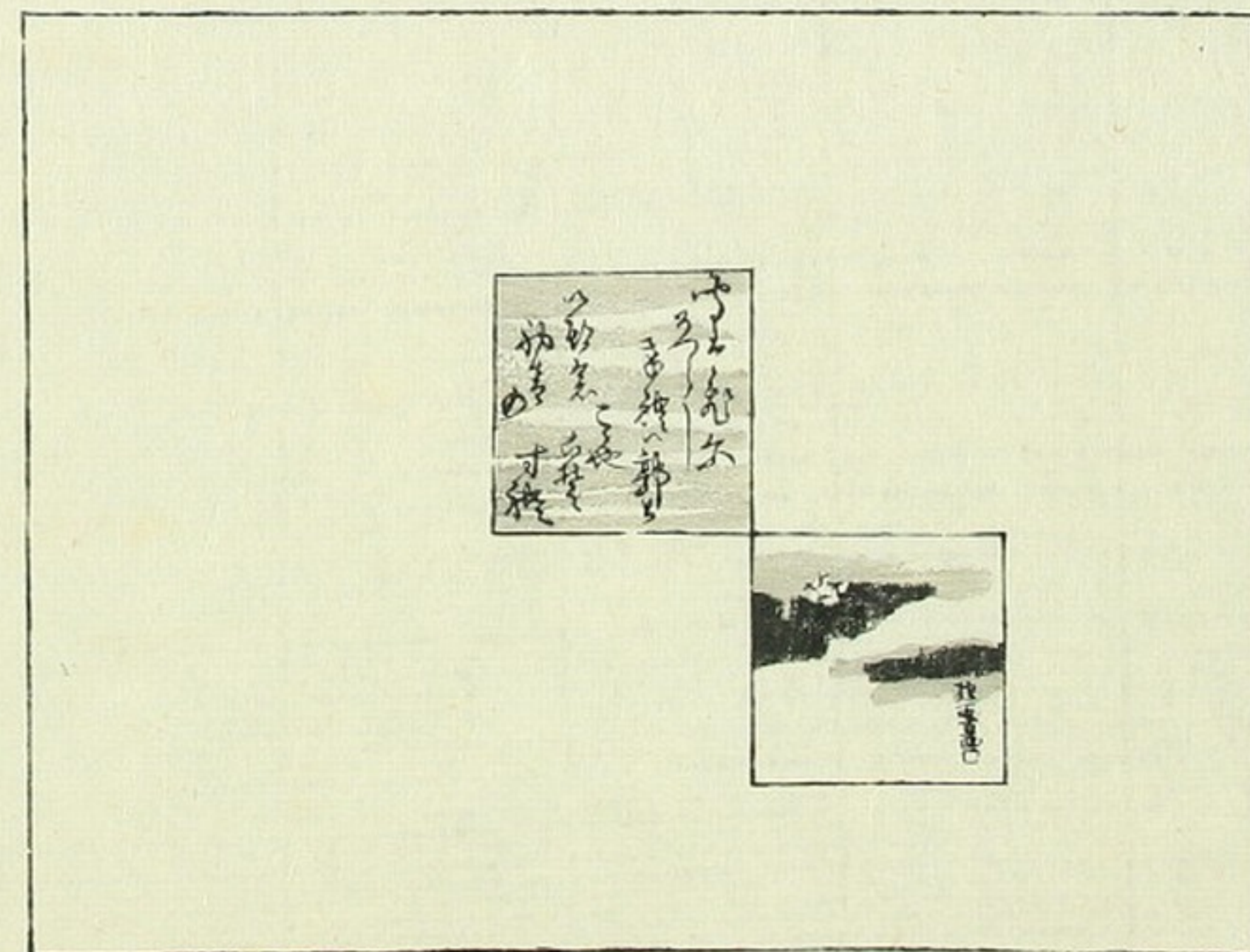


松
平
集
□

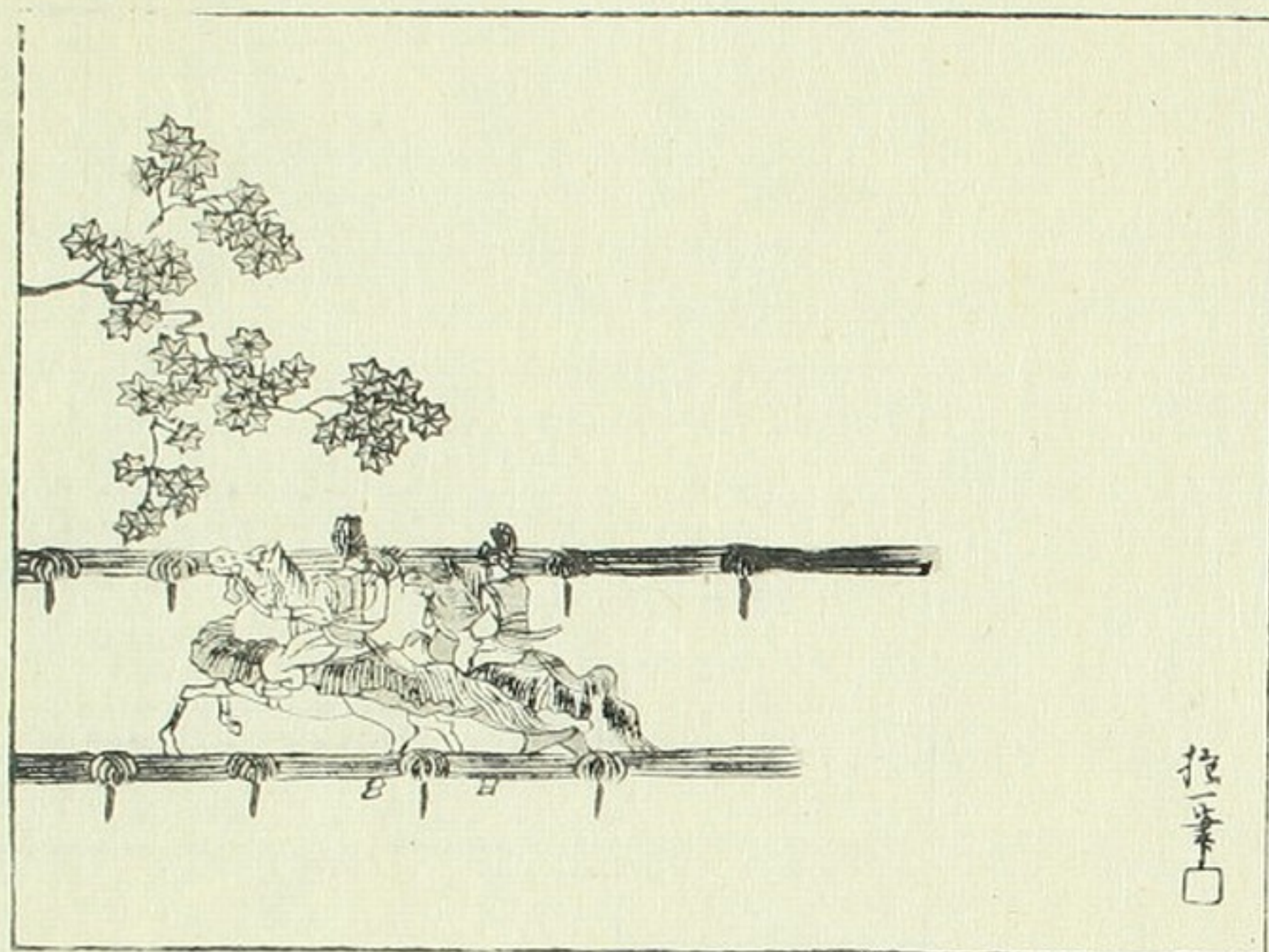
三月 彩鳥



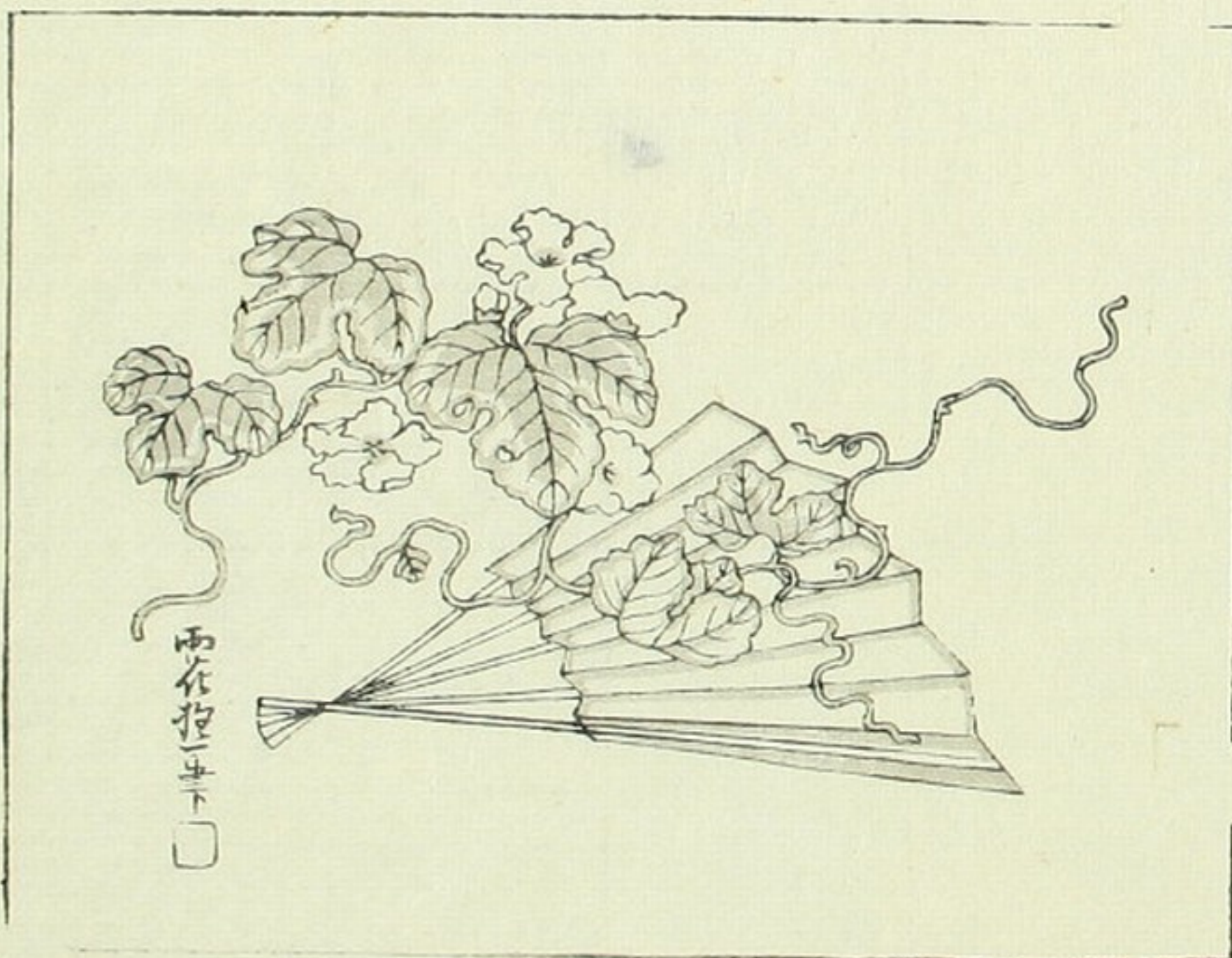
四月 彼岸色紙金袖子



五月 榴彩鳥



六月 榴彩鳥



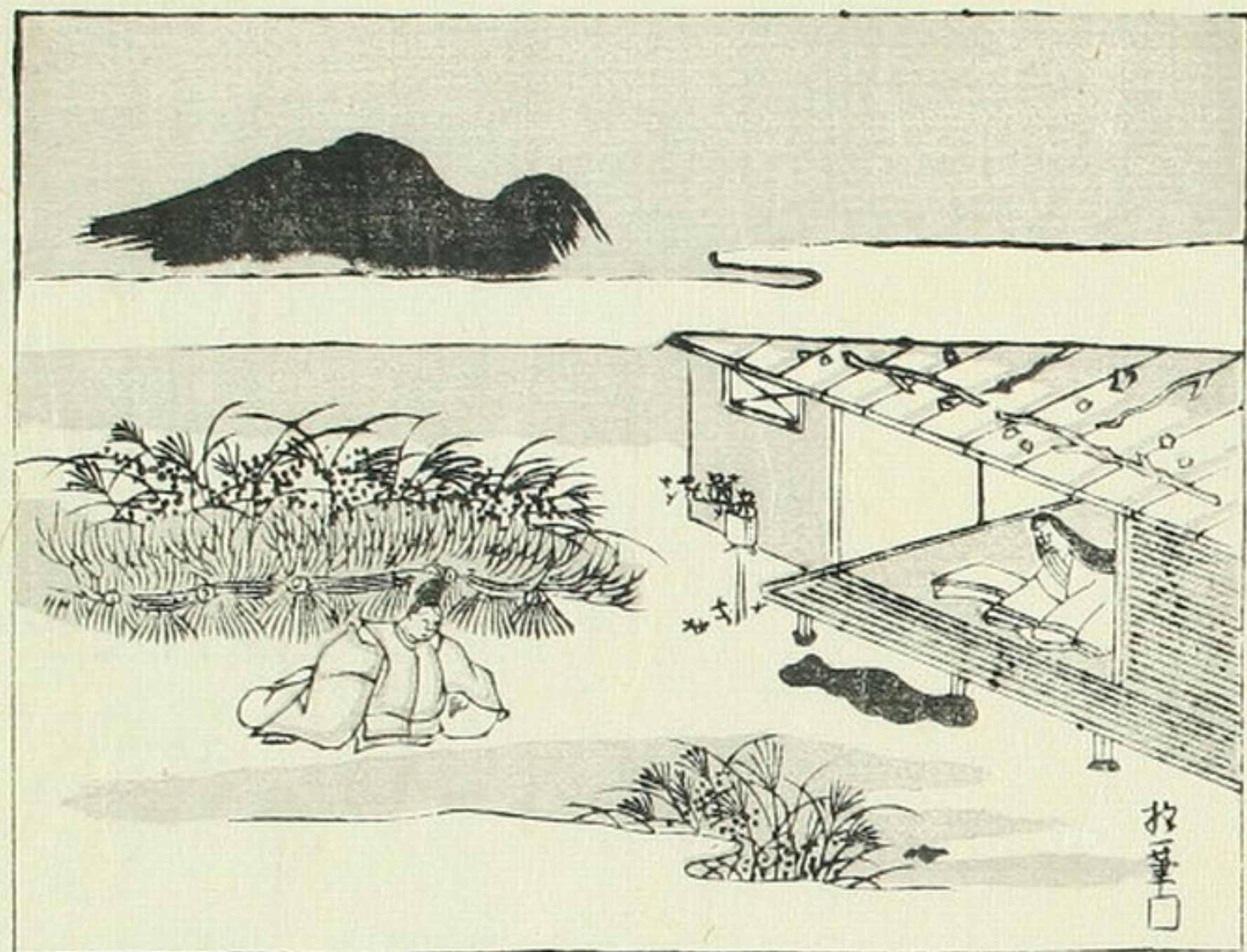
七月 極彩也



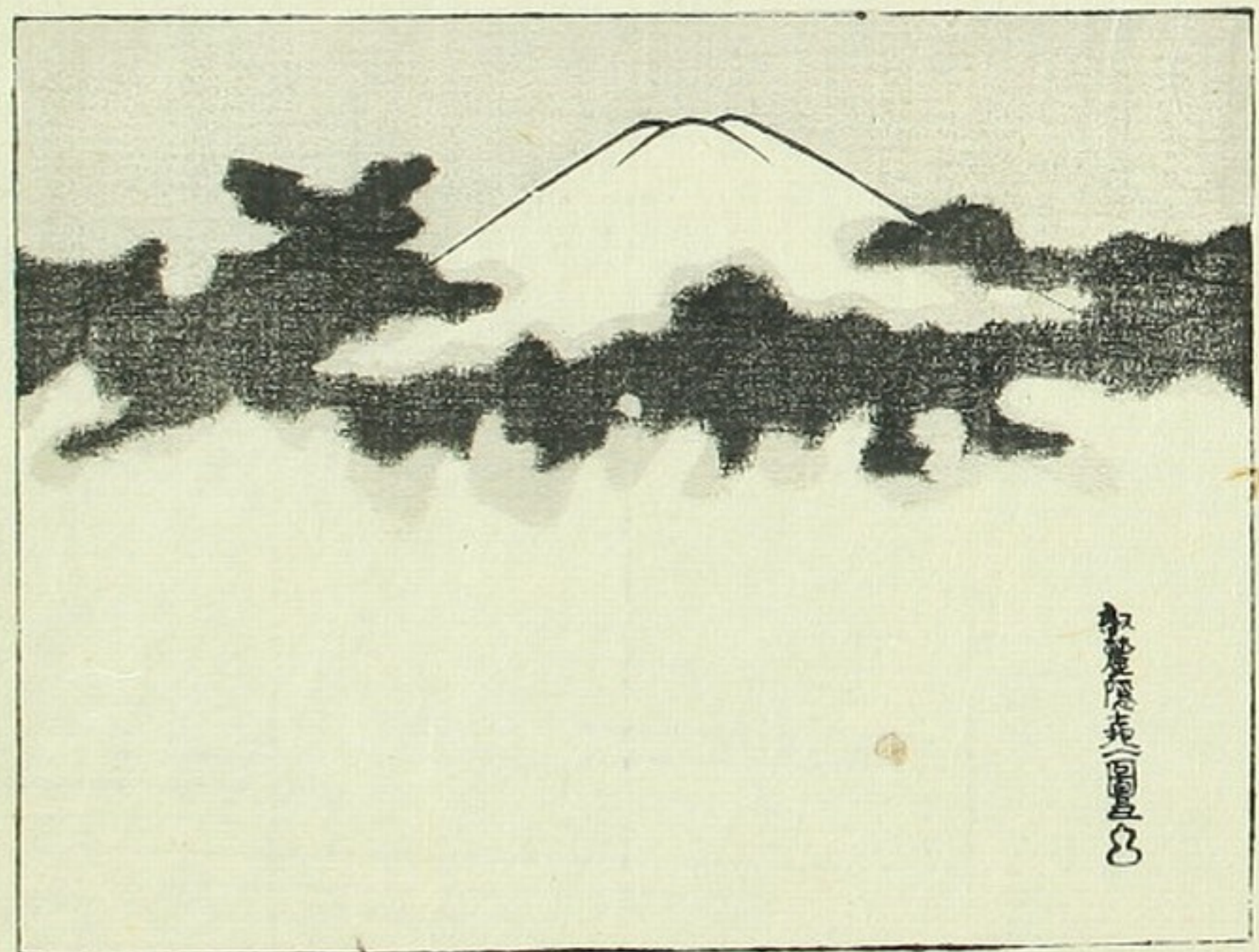
八月 繪彩



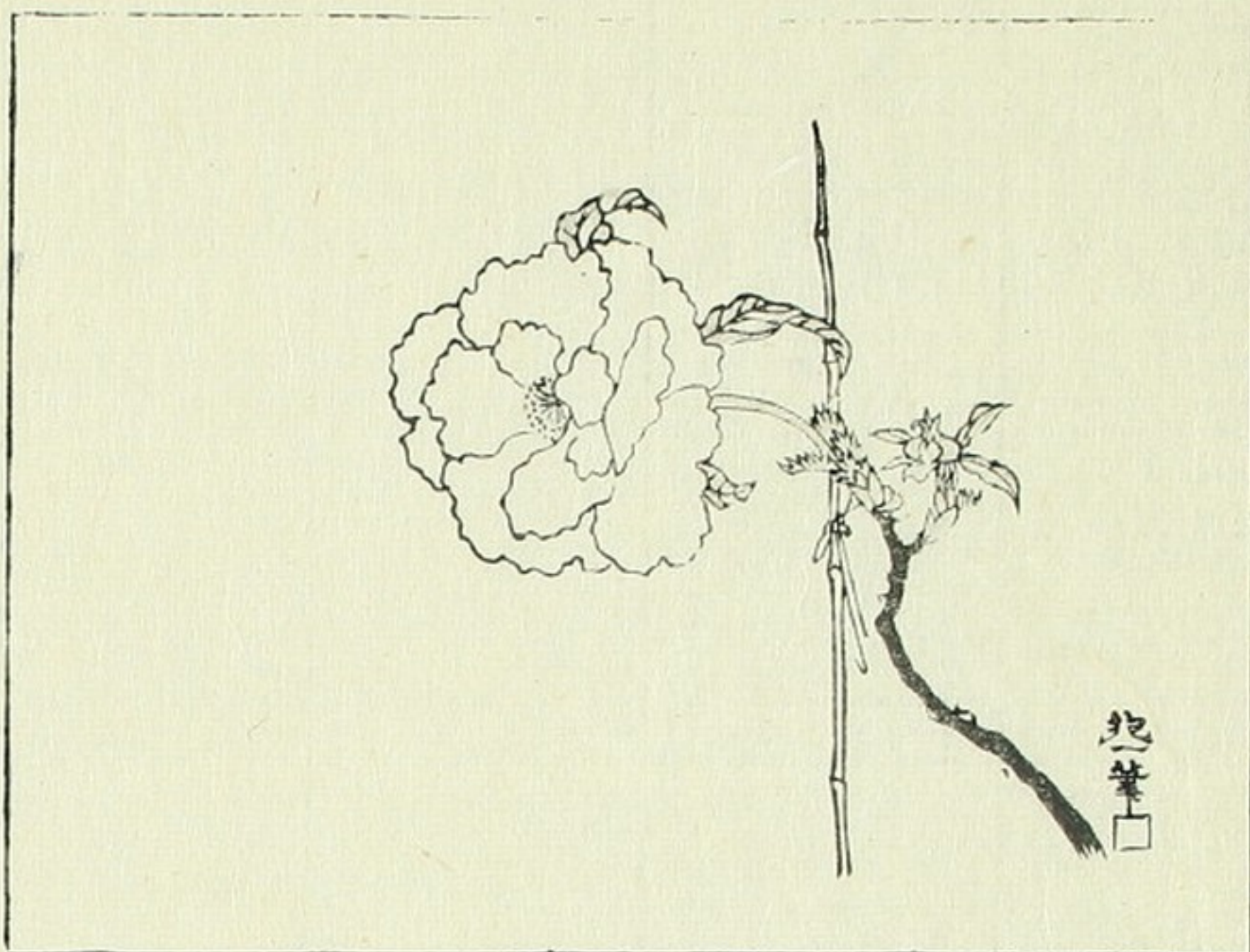
九月 極彩也



十月 繪彩



上月 彩書



十二月 挿彩書



右箱書対同筆

横物十二幅對

同裏

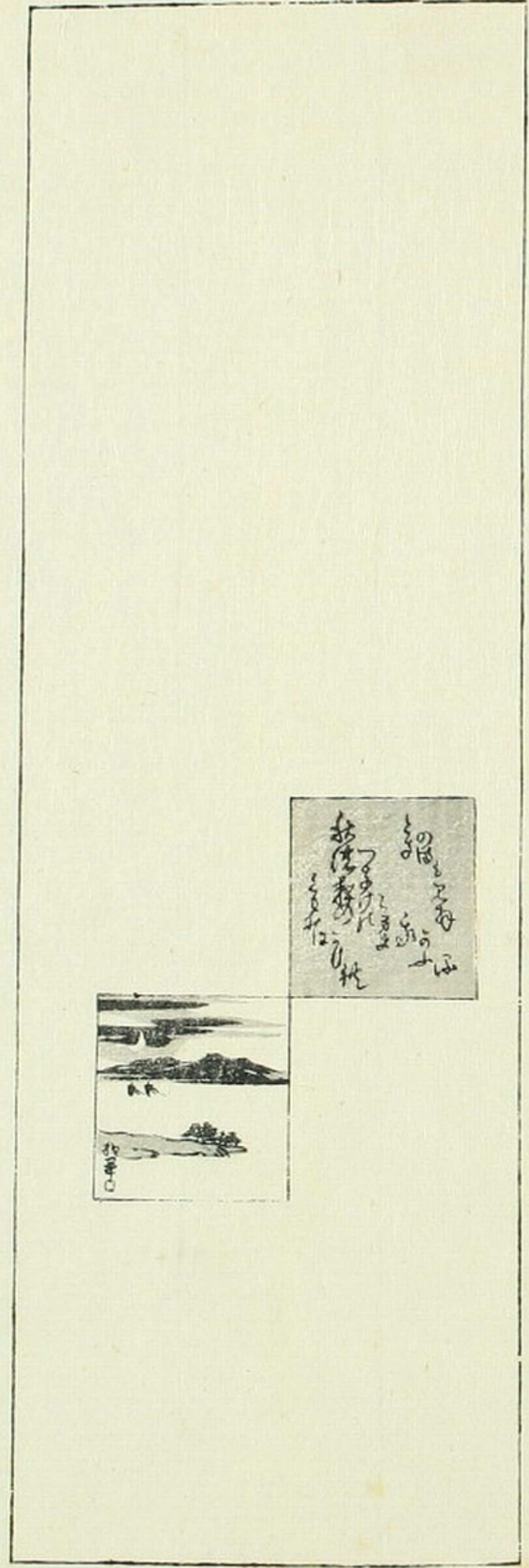
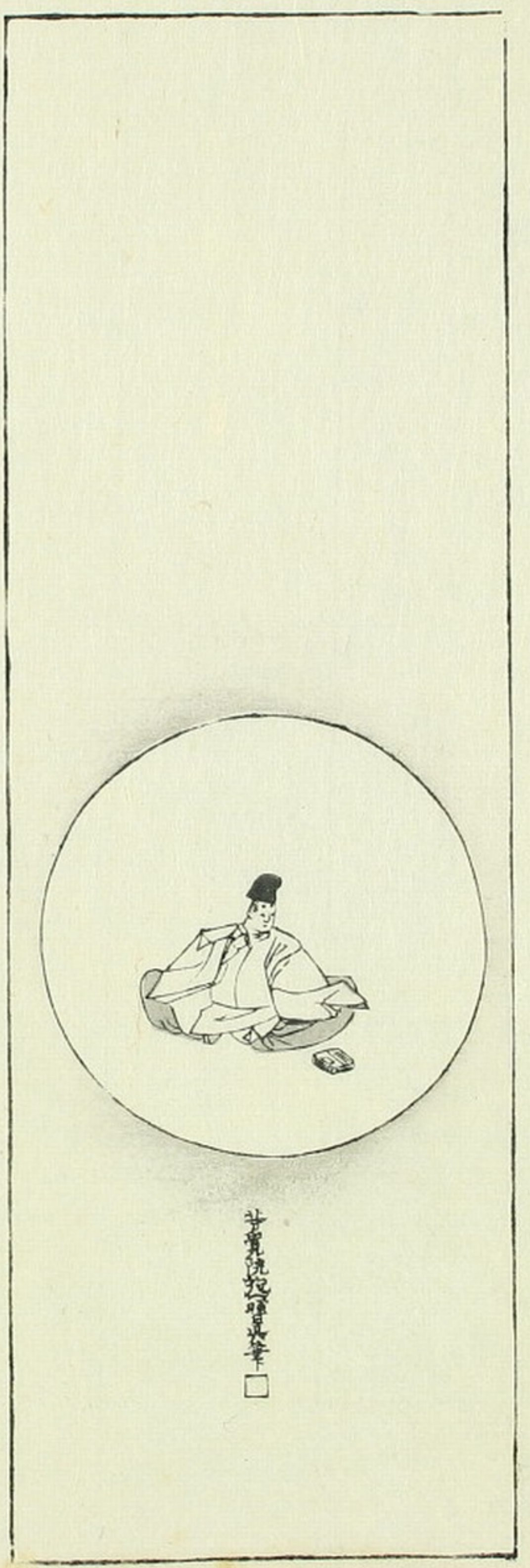
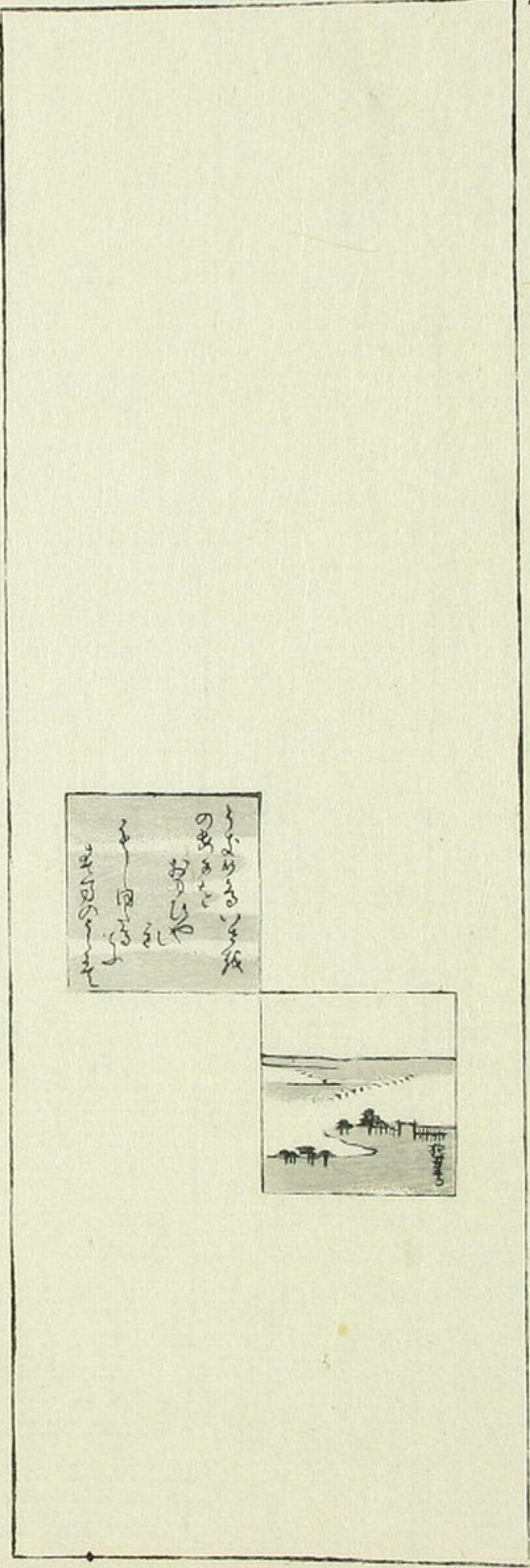
圓窓福祿壽	競馬	伴替物語	ゆめゆめ
浪子燕	扇夕顔	時雨の虫並	松葉堂
雀兒	雀兒	高松園	寒牡丹
色紙	色紙	雪鷹羽	酒の元
画扱	画扱		

雨後春景一巻

信本三幅對清尋

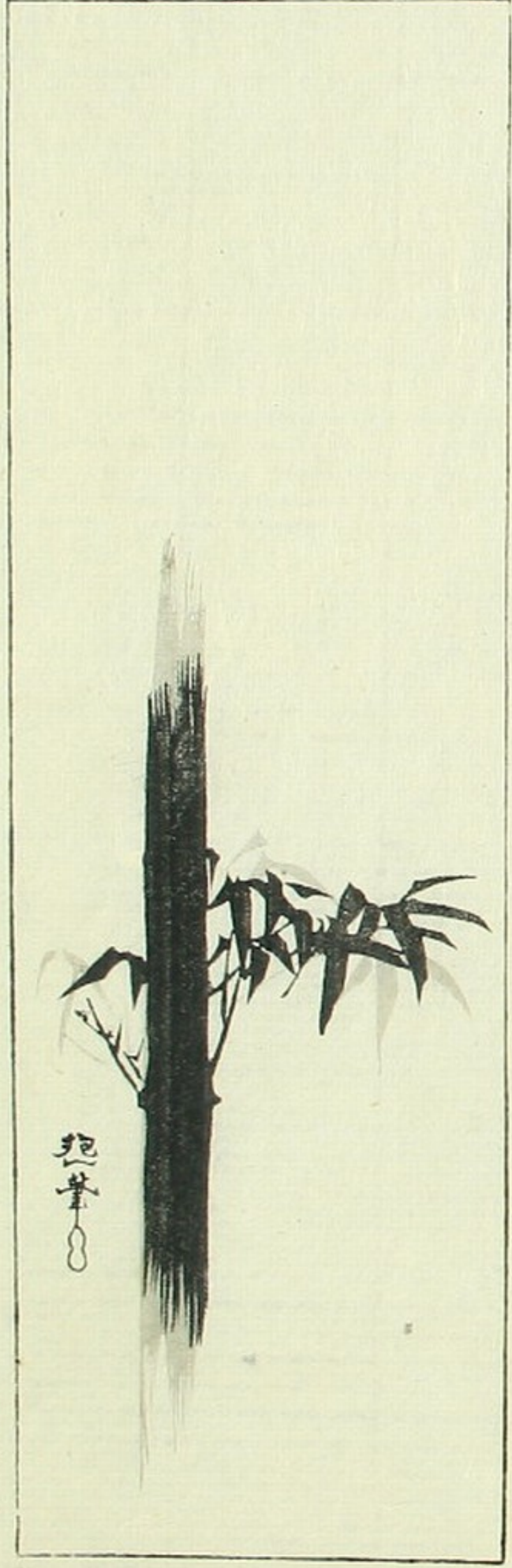
堅三尺二寸五分 横一尺六分

西國藏



右類書付同筆

三幅對
 中源君
 右須磨
 左明石



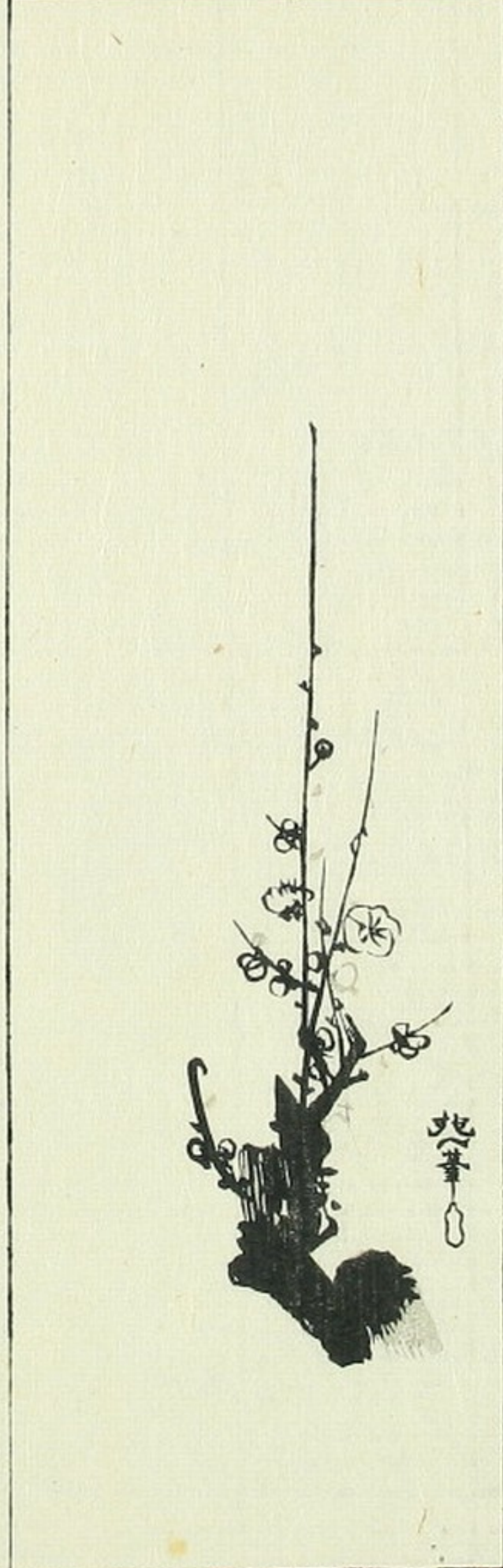
抱筆

陸庵藏



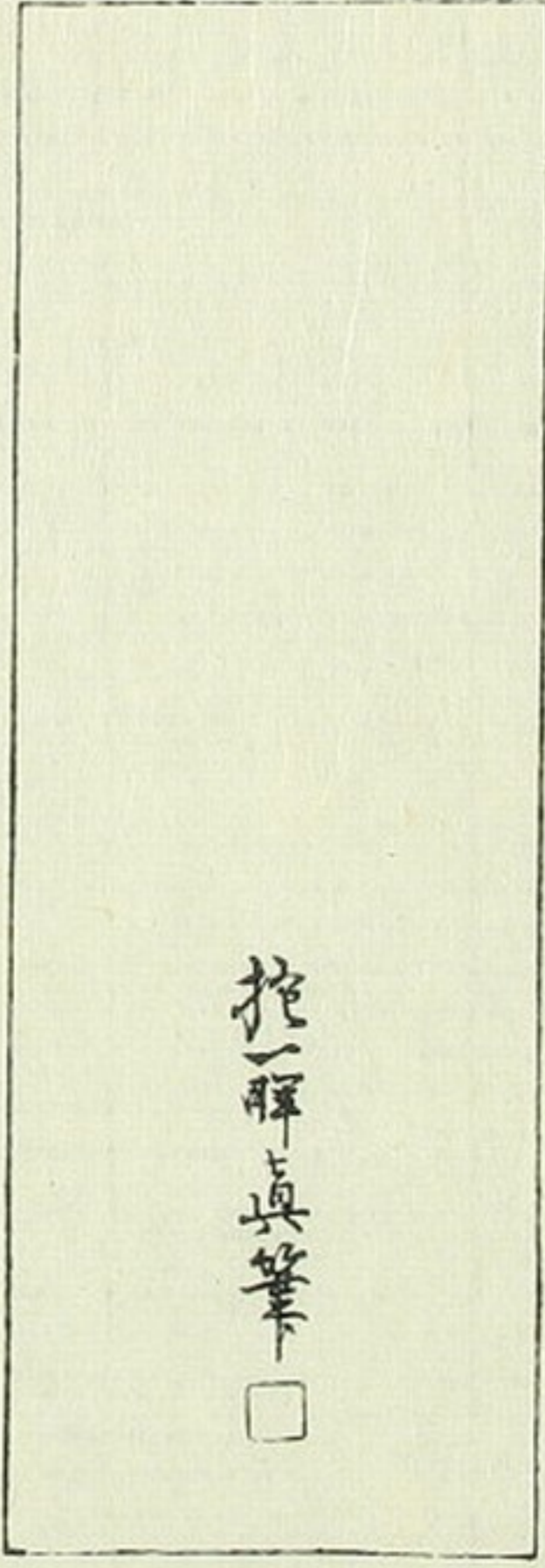
抱筆直筆

紙本三幅對 堅三尺寸橫九寸



抱筆

其二箱裏



抱一暉真筆



葉花神祇短尺

皆神影懸於馬車のちや
 内幸黄櫨壁 相岸の屋角に大目玉

菅松軒藏



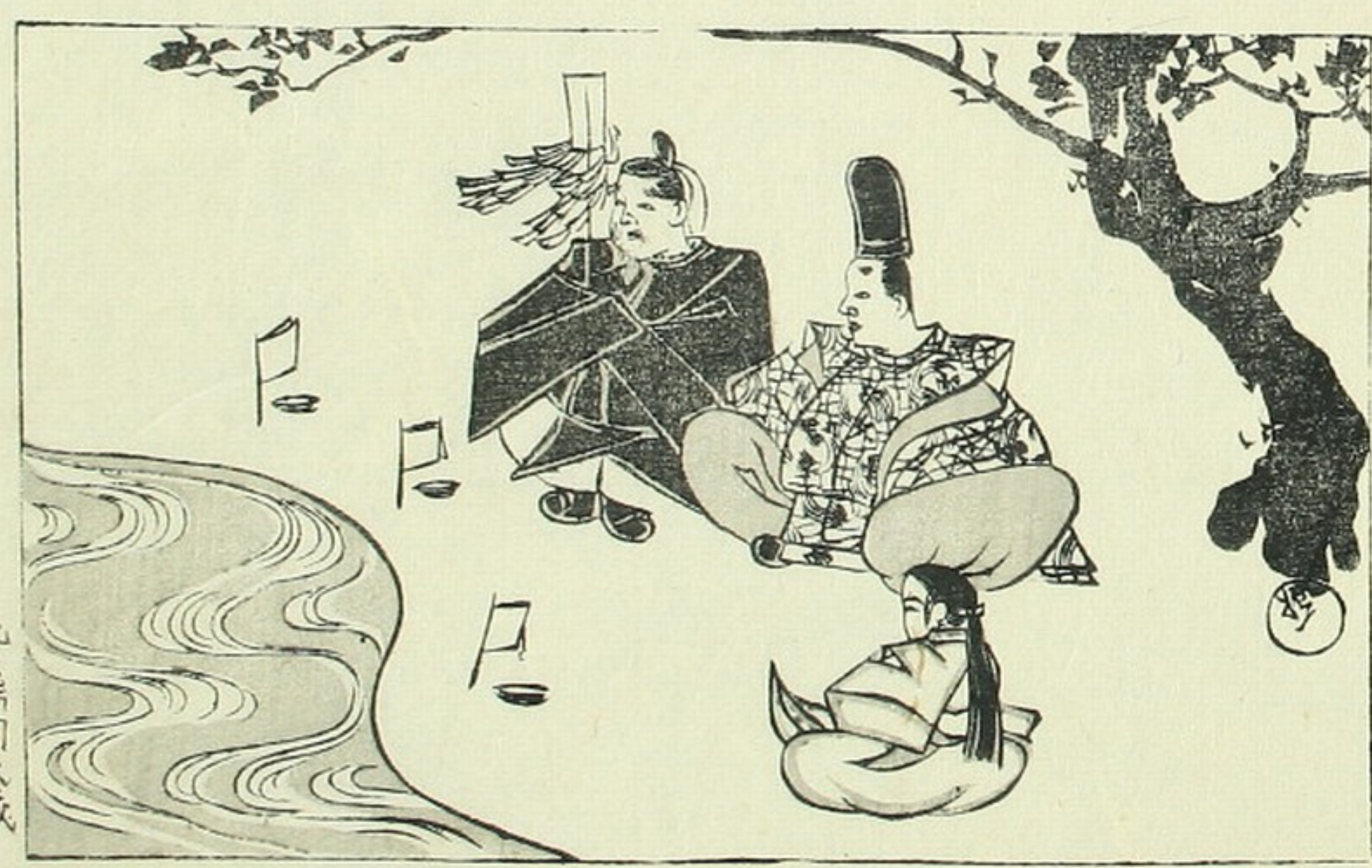
庭相子燈

指本極材也
 堅一尺七寸三分
 横三尺七分
 森布蔵



借本浄手 竪一尺七寸横一尺五寸

幸布藏



借本極浄手 竪一尺四寸横二尺一寸五分

池之端園氏藏



借本浄手
竪一尺七寸横一尺五寸
幸布藏

幸一祥生

借本浄手
竪六寸五分
横九寸六分
井上氏藏



借本浄手 竪三尺四寸横一尺二寸

藤原氏藏

紙本三幅對書畫 堅三尺橫九寸

森布藏

形如端的童

与年并



松蔭秋葉拜畫

少年面如童

雨年



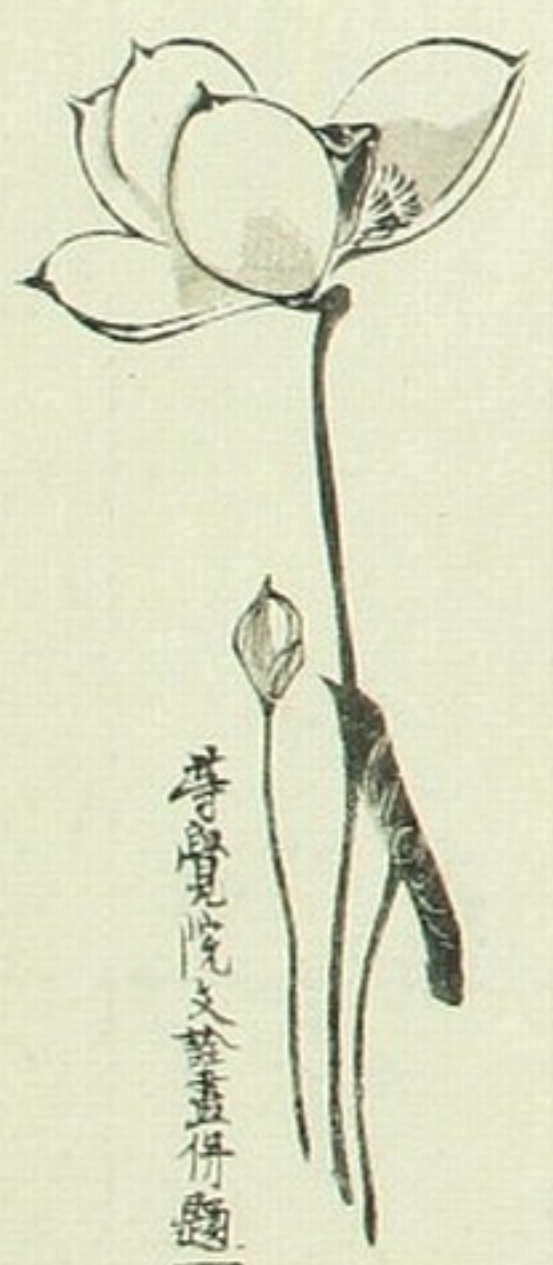
紙本淡墨

堅五寸七分橫三寸五分

右同藏

文化元年歲次甲子秋八月甲子日臨 法雅畫真

不斷如船得涅槃

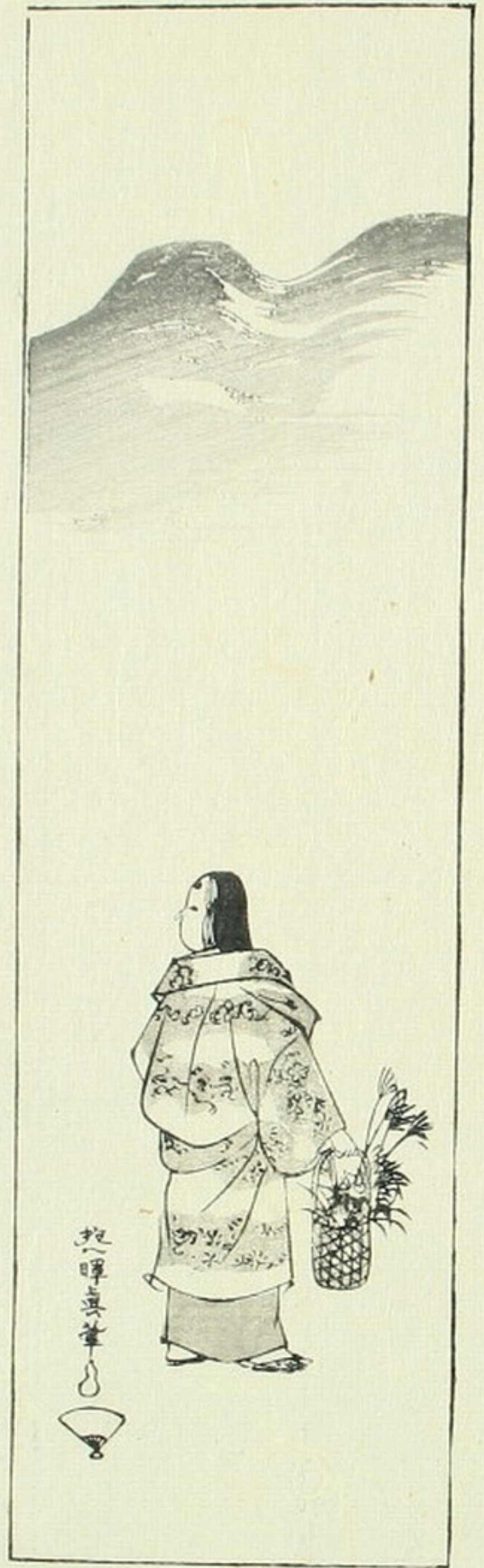


淨覺院文藝畫併題

森布藏

紙本墨畫

堅三尺一寸 橫九寸五分



松暉真筆

紙本淡粉
堅二尺八寸
橫八寸
第雙軒藏

紙本墨畫

堅九寸五分 橫一尺二寸六分

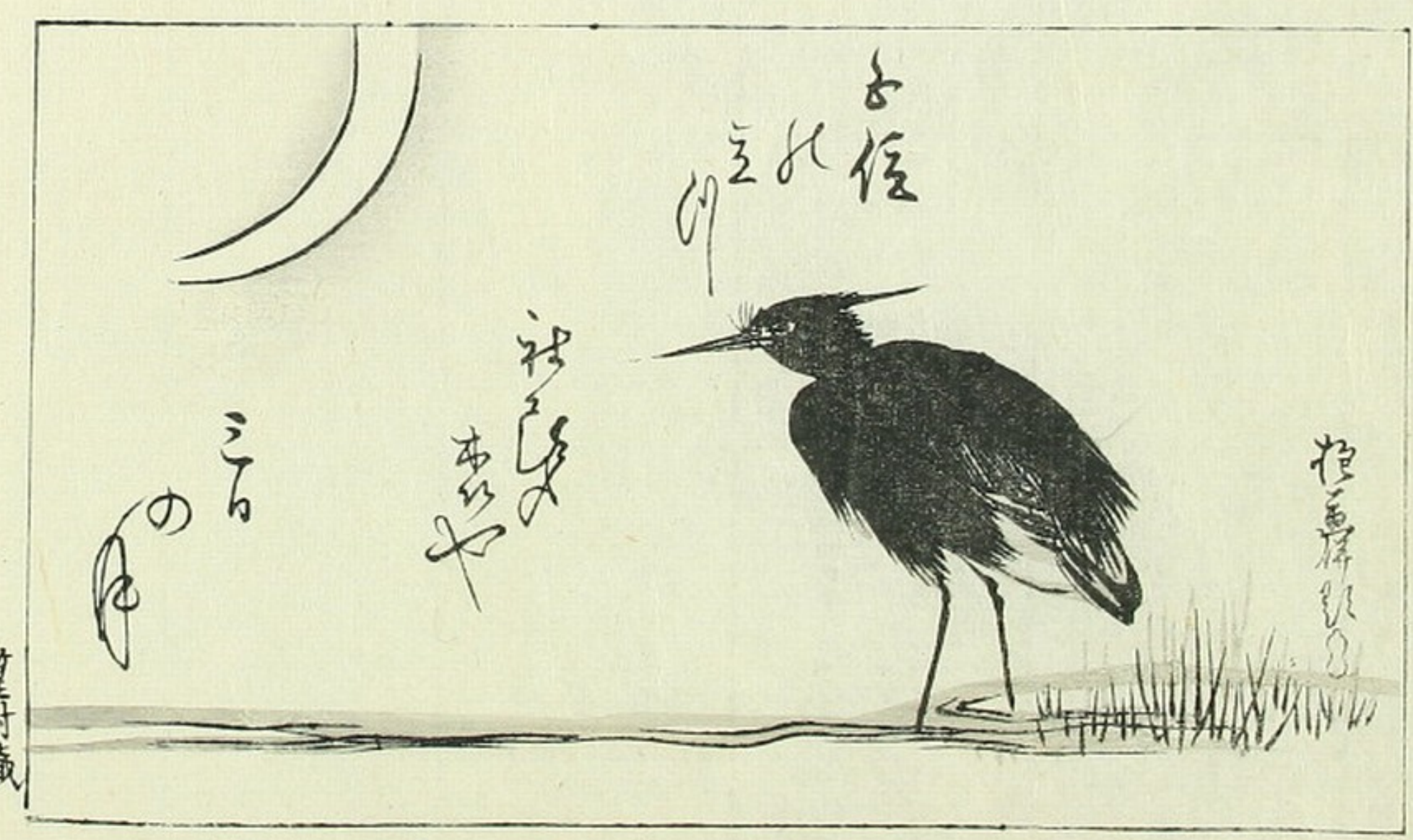


葉心佛性何處龍虎極於中
破得却必美聖教西天東

仙山居士畫併題

紙本墨畫

堅一尺一寸 橫一尺九寸



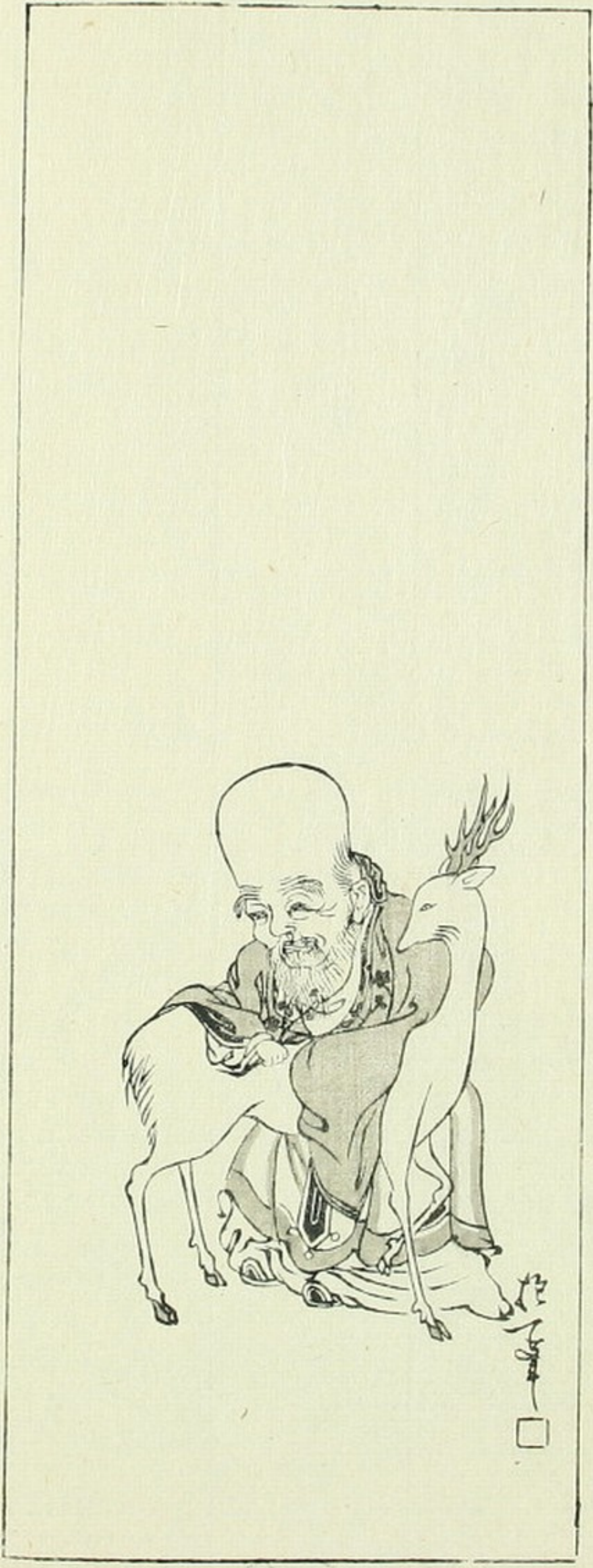
子任

社

望村藏



松
同
畫



鹿
同
畫



竹
同
畫

楮本三陽對
抱持者
豎二尺七寸五分
橫九寸五分

右拍書竹同筆

懸
物
左松
中福祿壽
右竹
三幅對

右同載

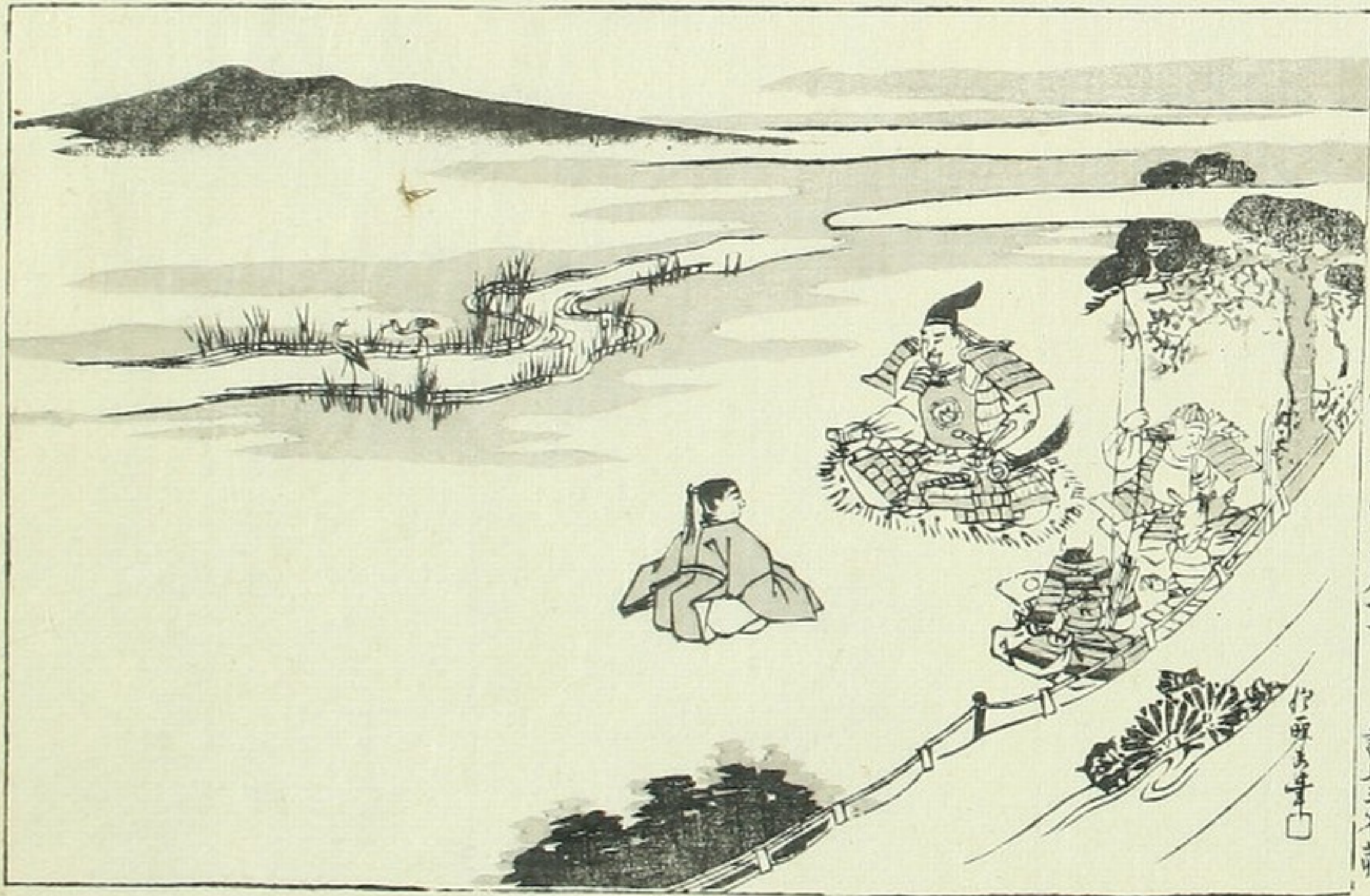


赤坂氏藏

繪本彩色

竪九寸五分横一尺一寸五分

抱し草の



繪本彩色

竪一尺一寸五分横二尺一寸五分

上毛相生 書上三曾藏

竹原の舟

紙本淡墨

竪二尺九寸五分横一尺九寸

啼鳥の聲
あつめ 長生の夢



柏二画

松軒藏

正一箱裏

抱し草の

三雲の
 評を
 十餘の
 所を
 遊歴し
 其の
 妙を
 傳へ
 給へ



持筆

俊成
 由ふも
 の
 心
 なる

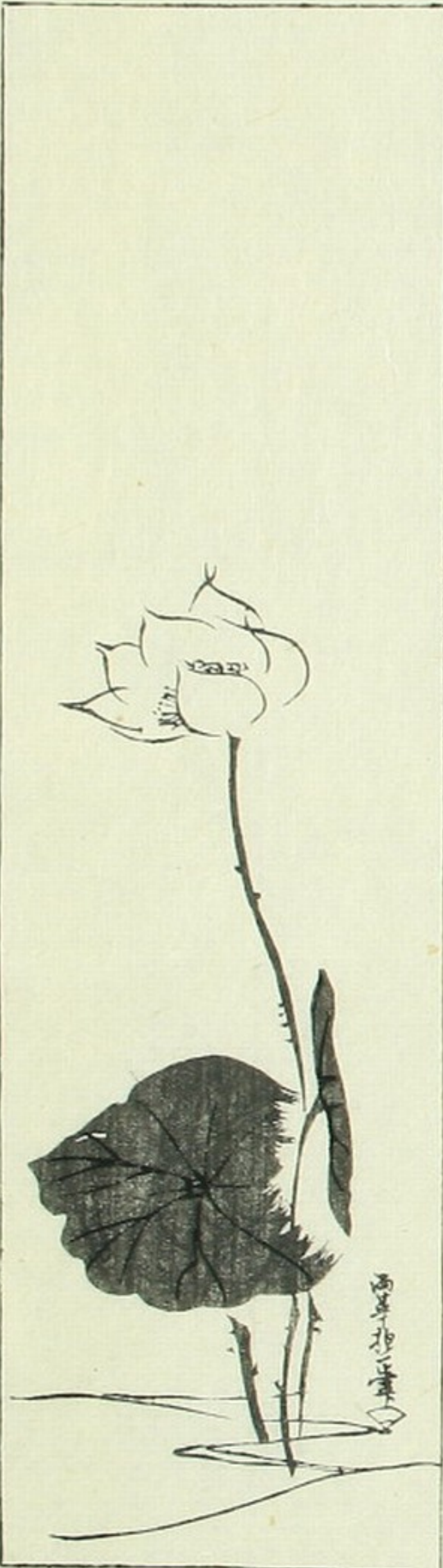


持筆

毛の京
 花の
 心
 ひ
 西折



持筆



西折

紙本

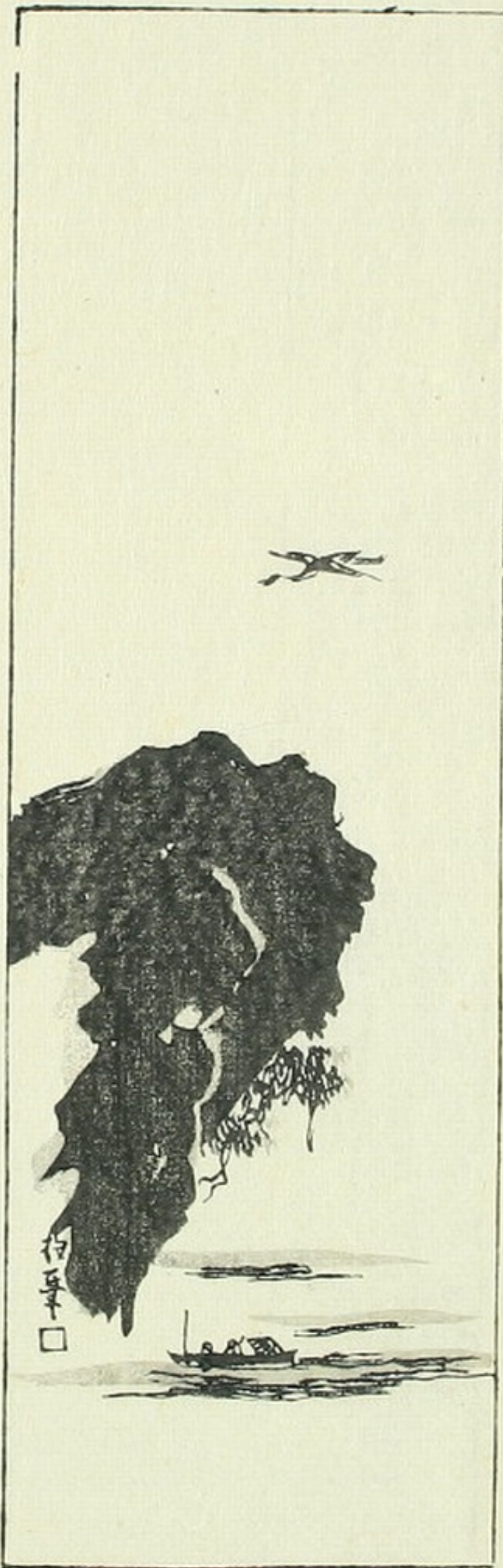
竖四尺寸五分 横二尺寸二分

石如乳白木如籀寫竹還
 意以法通者也有人能層
 大須知畫本耳曰

陸庵藏

絹本淡墨

竖三尺寸六分



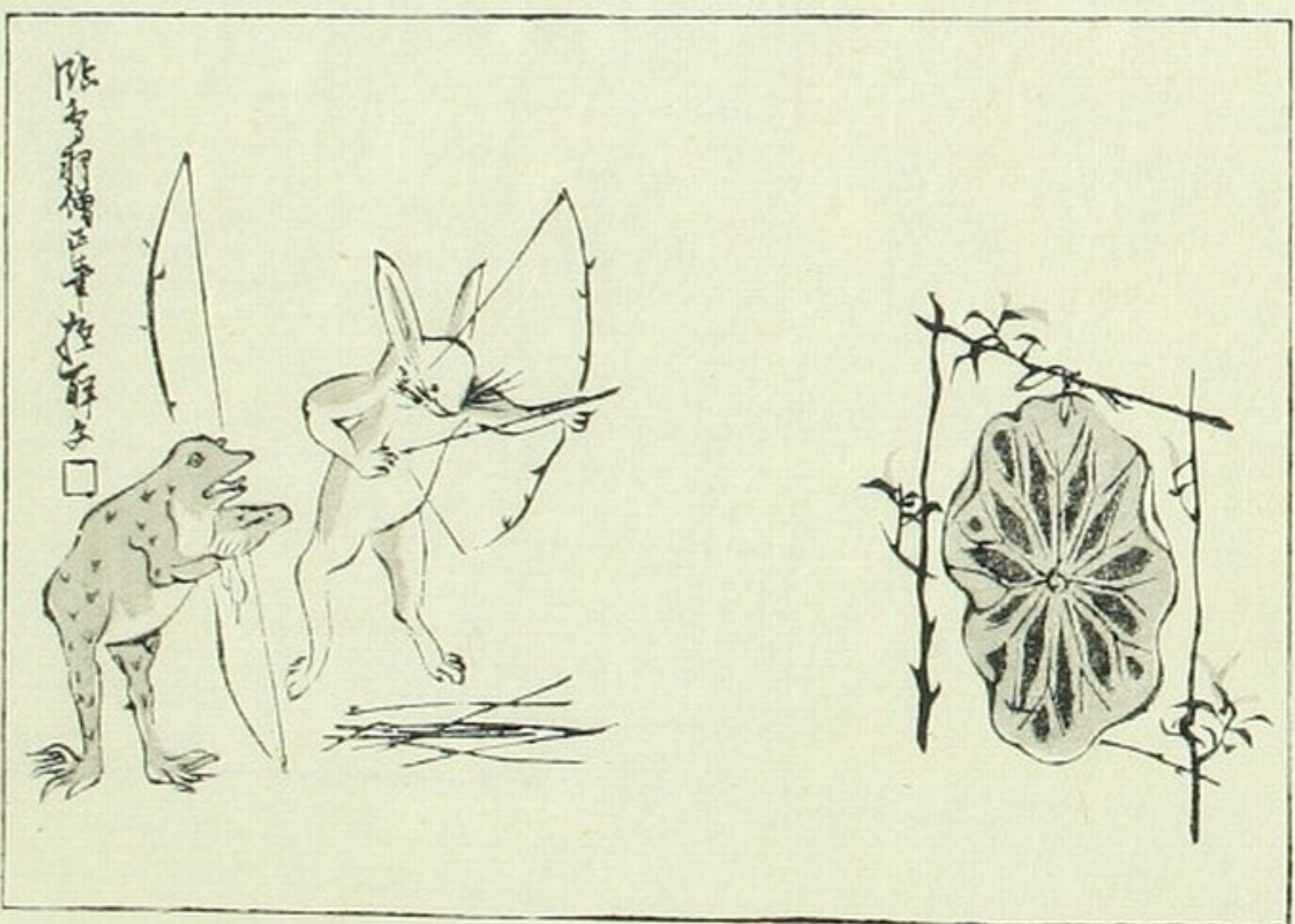
紙本

竖一尺五寸五分 横一尺八寸五分

石如乳白
 木如籀寫
 竹還
 意以法通者也
 有人能層
 大須知畫本耳曰

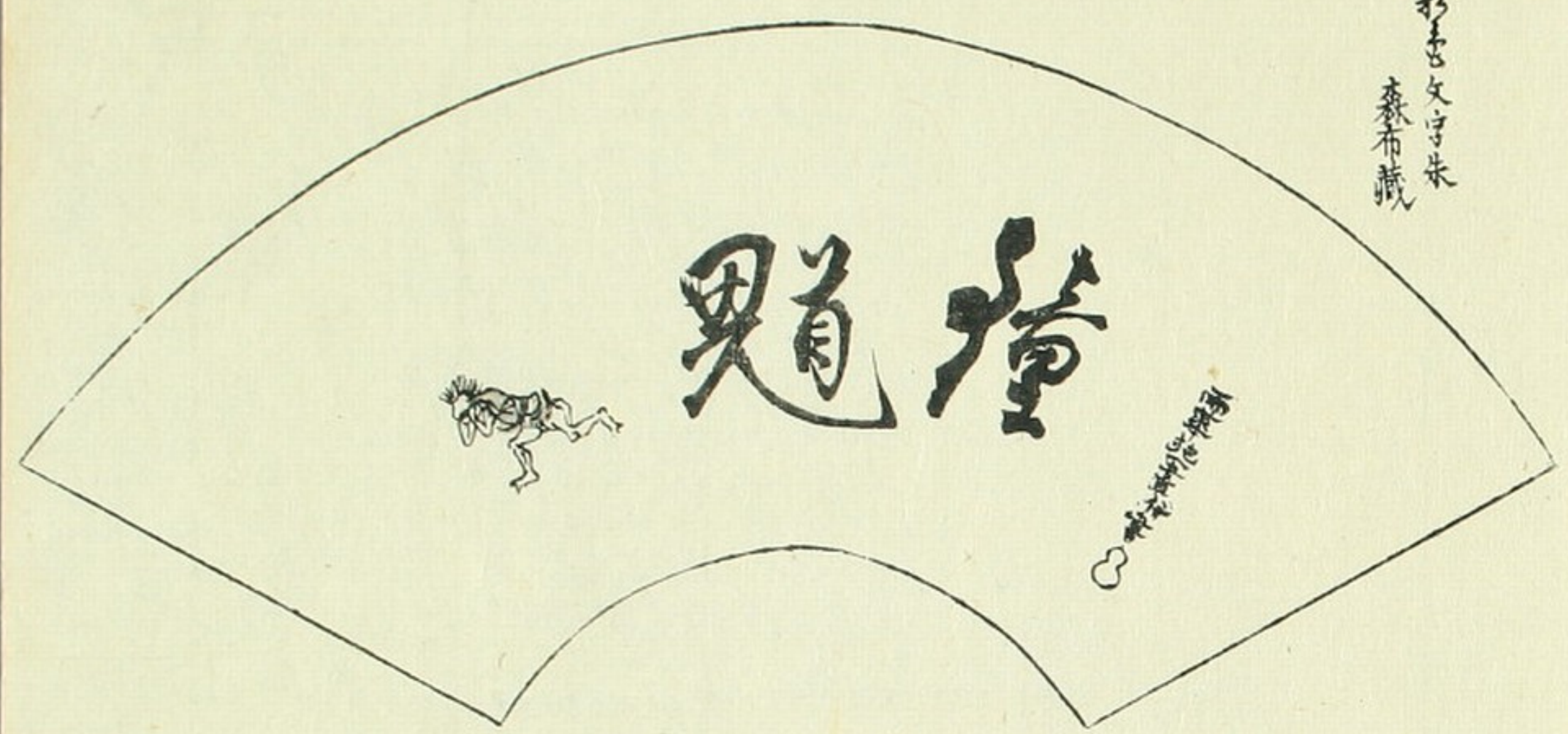
紙本淡彩

竖一尺六分 横一尺五寸五分

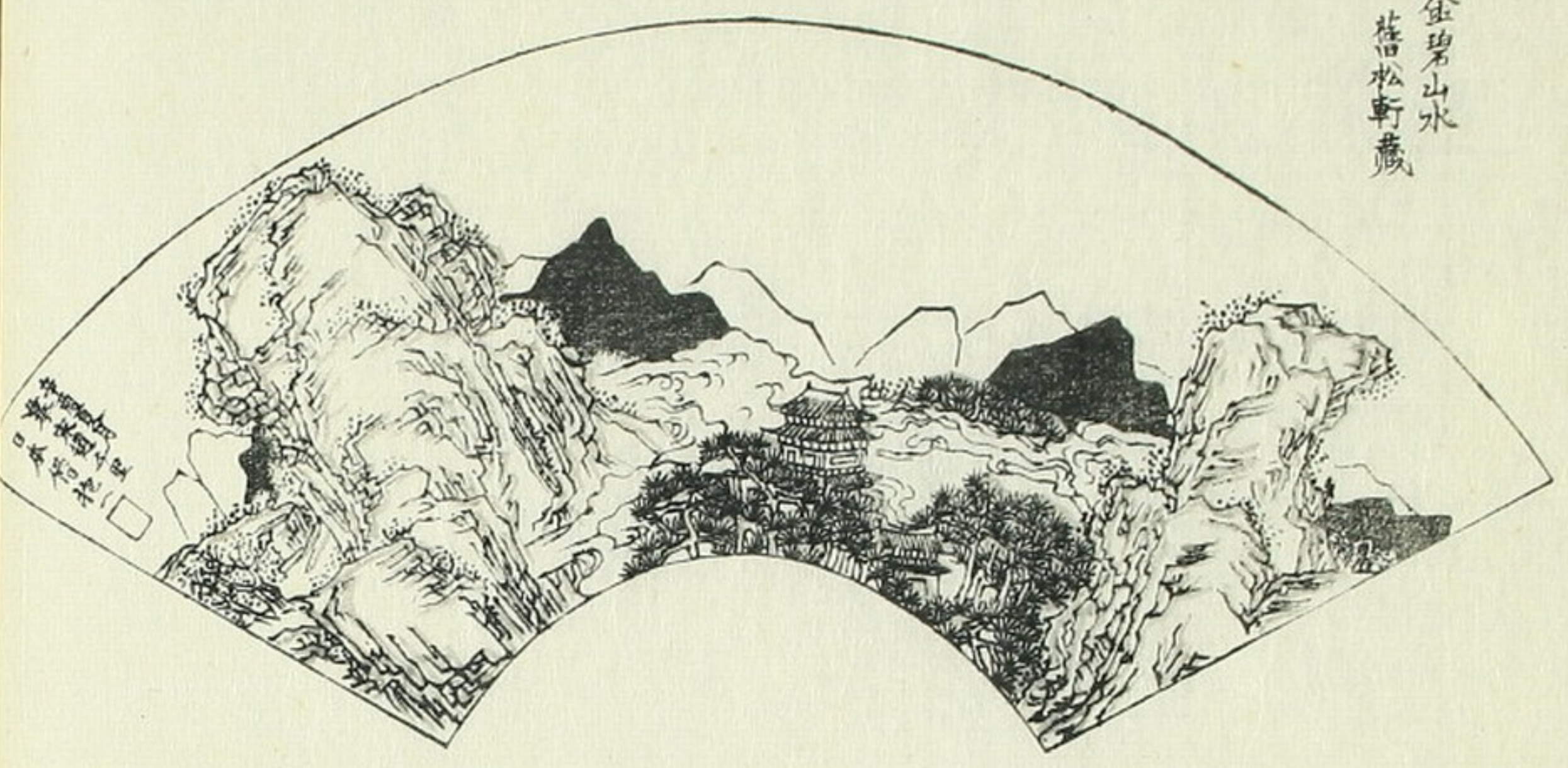


橋本氏藏

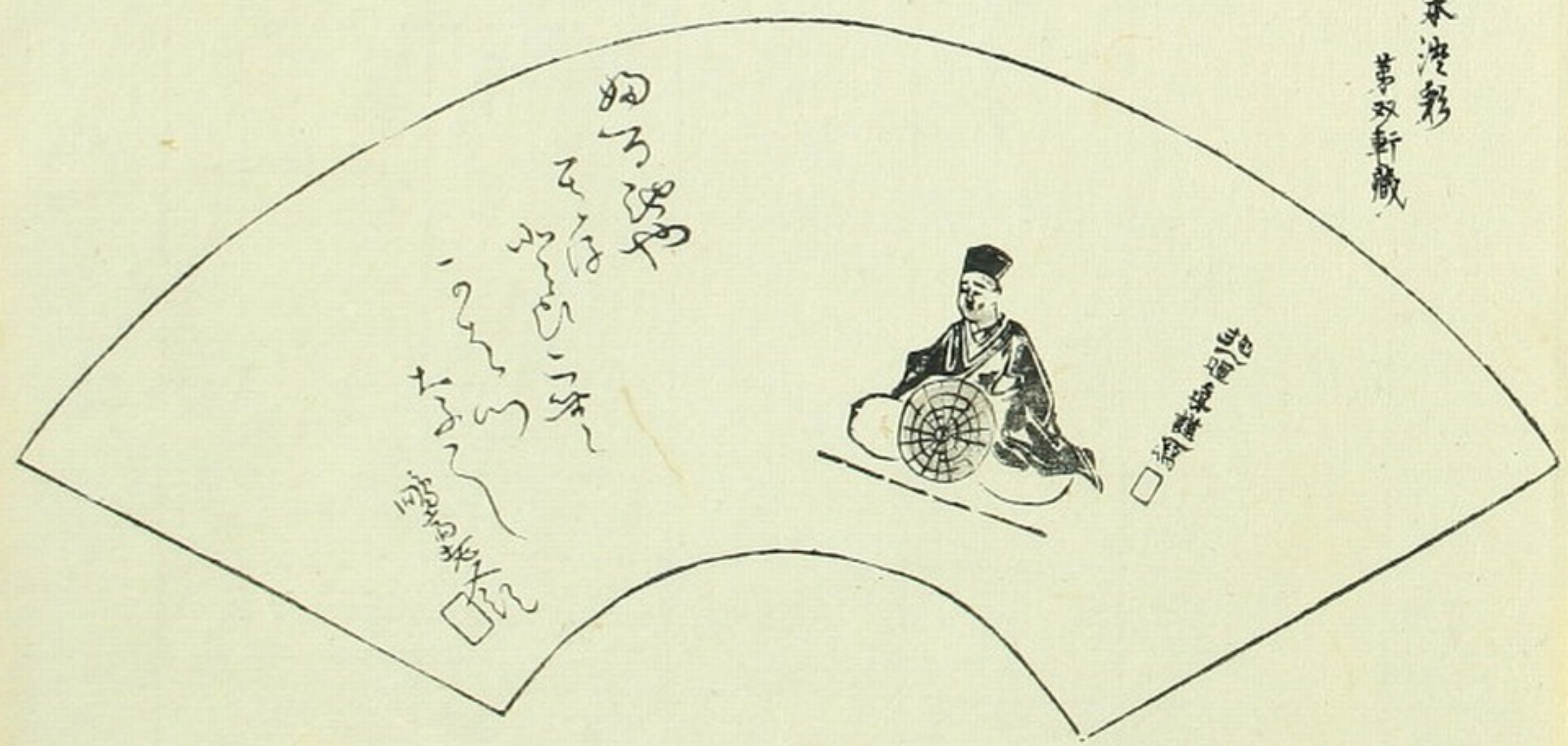
紙本彩墨
文守朱
森布藏



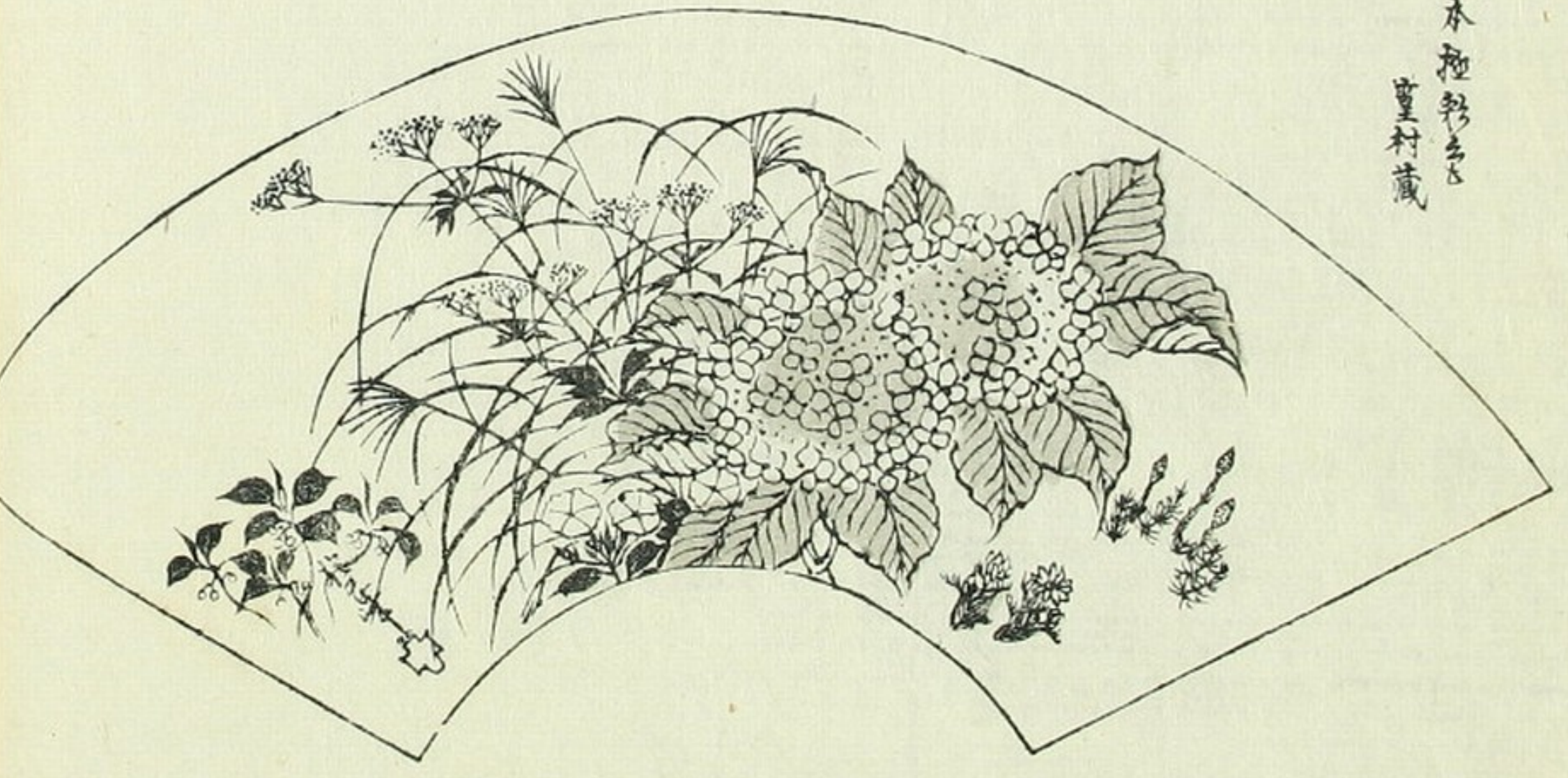
紙本金碧山水
舊松軒藏



紙本淡彩
葉双軒藏



紙本極彩墨
董村藏



借本極彩

堅三尺三寸 横一尺九寸

天の宮に久可
下ふ物也 古
如打と持 皇
大 西家



持明天皇

借本極彩
堅二尺七寸八分
横一尺八分



持明天皇

一水蔵

懈怠

あつらひもれり心は
けつりぬやあつらひ
あつらひもれり心は
けつりぬやあつらひ

宗甫居士書 松暉堂

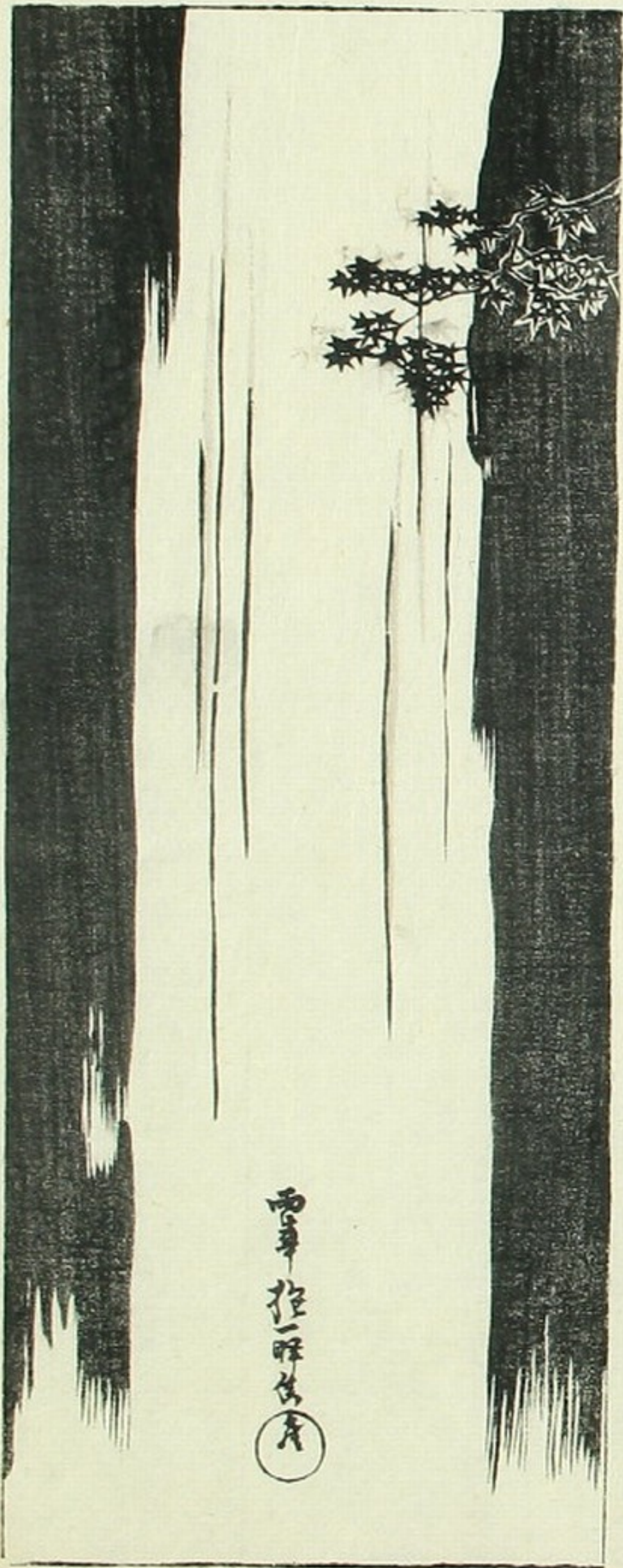
紙本
堅九寸
横一尺四寸四分

短尺

あつらひもれり心は
けつりぬやあつらひ
あつらひもれり心は
けつりぬやあつらひ

右同蔵

借本極彩
堅三尺三寸
五分
横一尺三寸
三村氏蔵

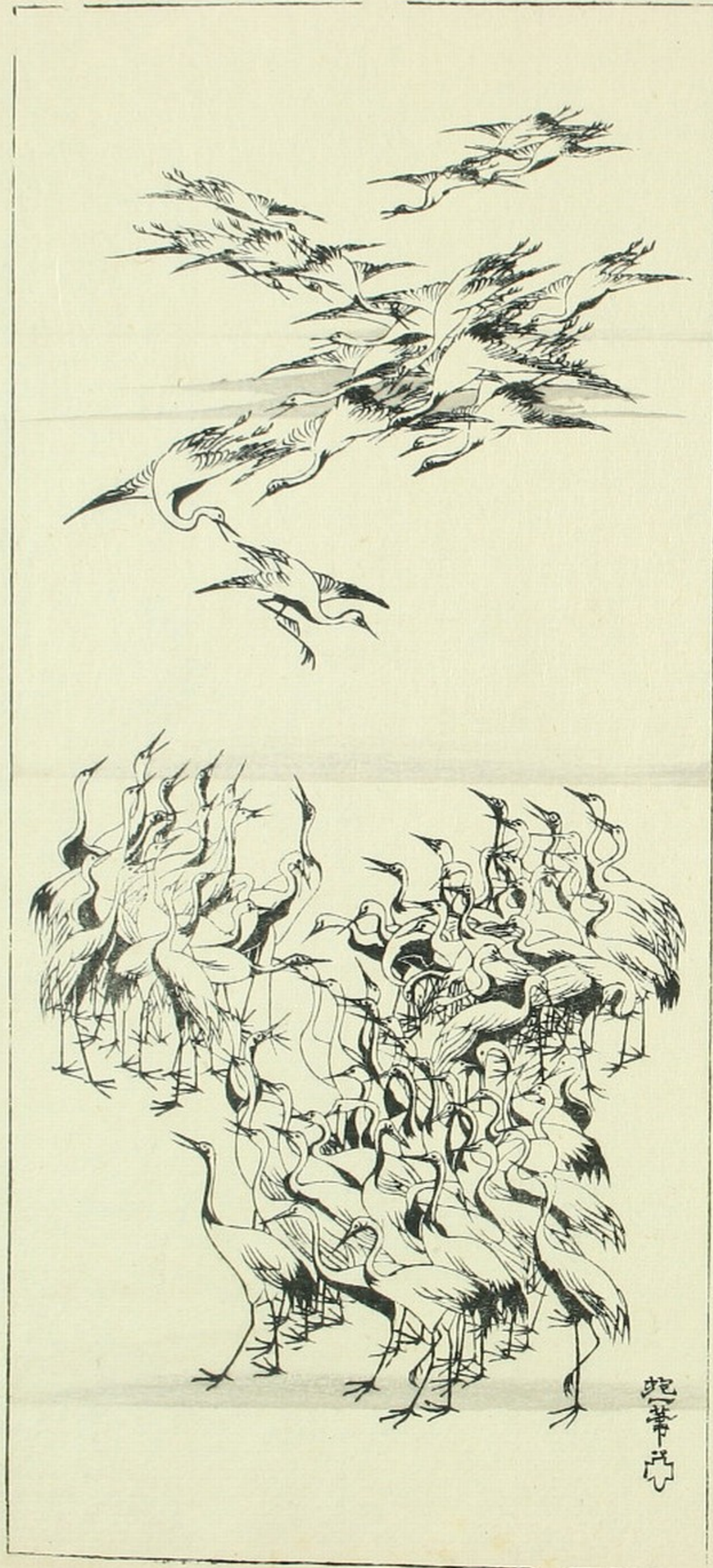


西華 持明天皇



全地二枚打屏風極彩多砂子中書

六花園藏

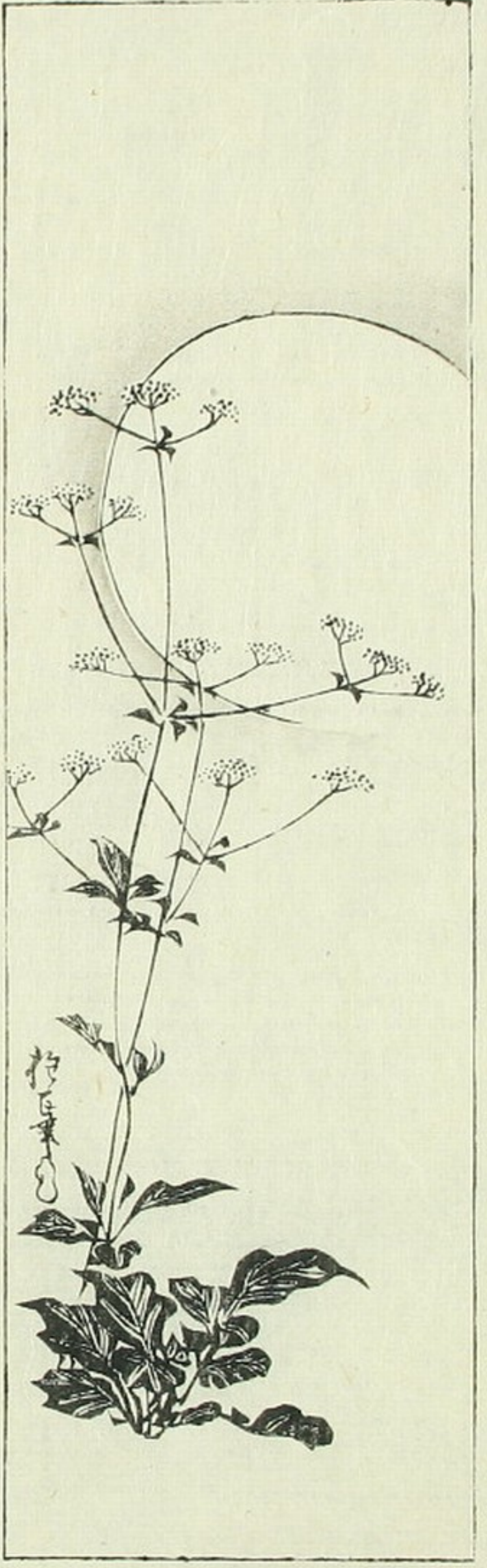


信本三幅對控報金泥引

堅四尺一寸横一尺七寸三分

六花園藏

抱筆印



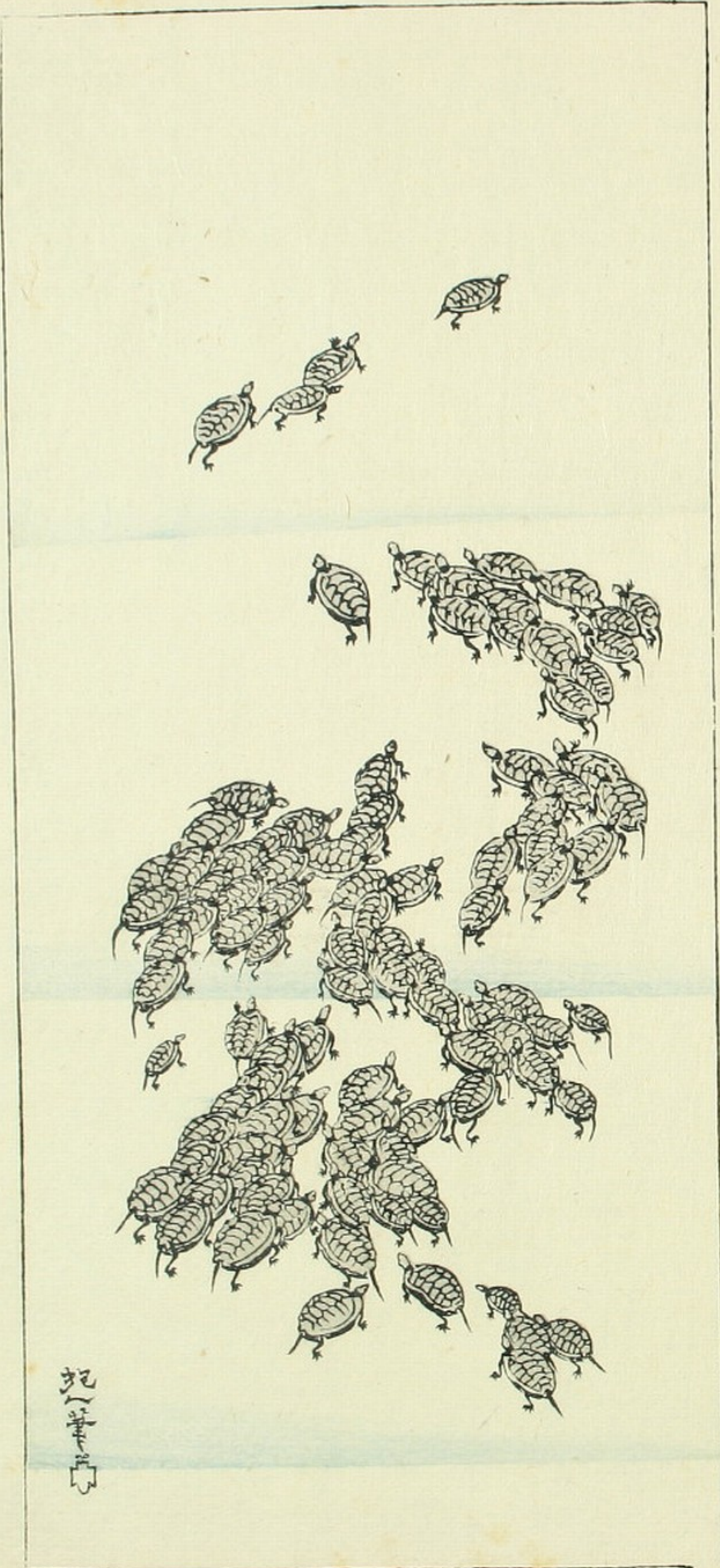
信本澄粉

堅三尺八分横九寸

國氏藏

右同藏
 此圖乃日本名畫家所繪
 其筆法極其精妙
 誠為畫中一絕也

短尺



犯華



西華茶地暉魚筆〇〇

右箱書付同筆

左

百鶴

郭子儀

三圖

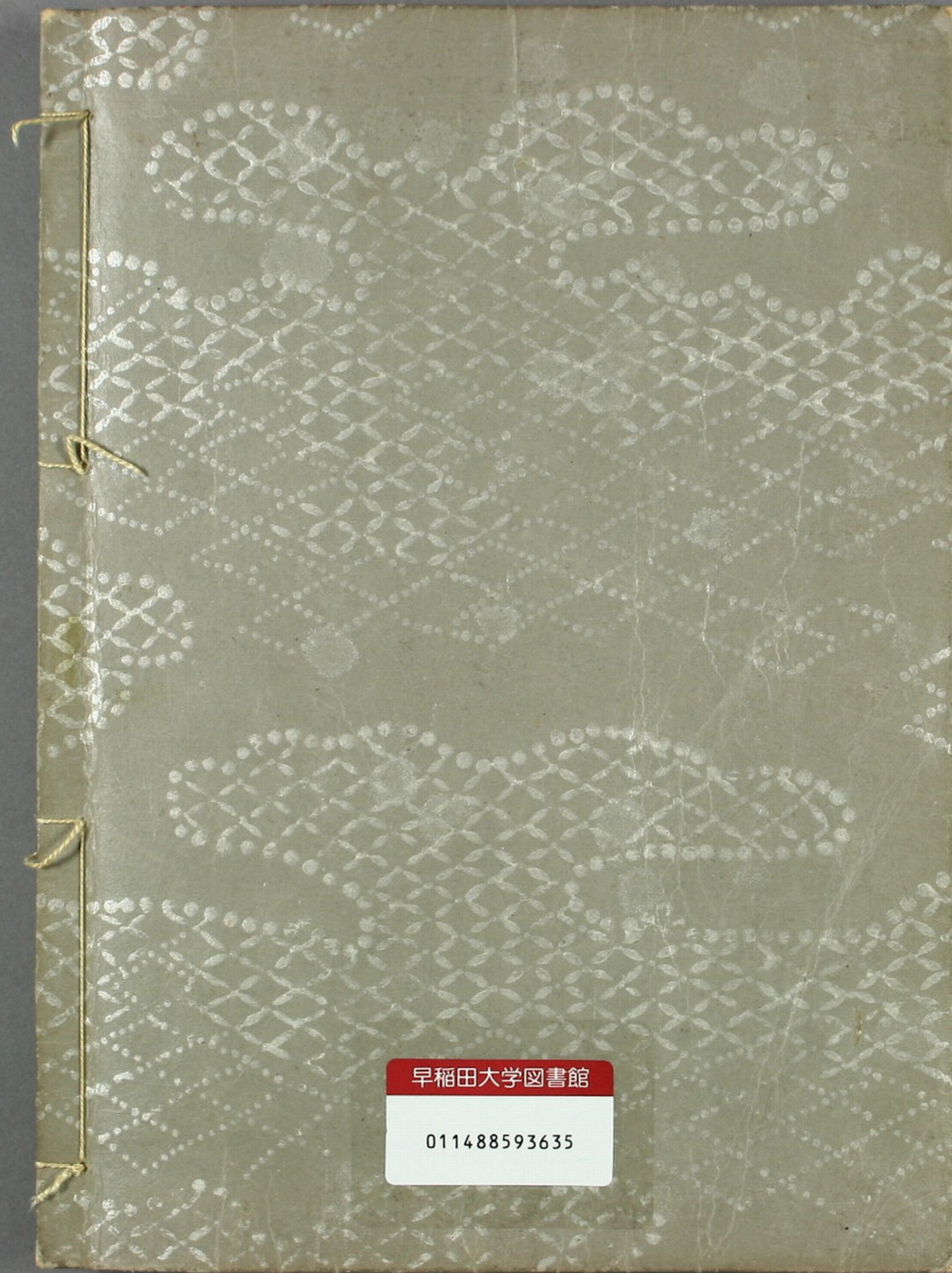
三幅對

百龜

右

同裏

兩筆堂炮(筆書)



早稲田大学図書館

011488593635